

弘前大学学報



創刊号
平成16年4月号

| | | |
|--------------------------|-------------|------|
| 平成16年度弘前大学入学式告辞 | 弘前大学長 遠藤 正彦 | - 1 |
| 平成16年度弘前大学大学院入学式告辞 | 弘前大学長 遠藤 正彦 | - 4 |
| 弘前大学閉学式式辞 | 弘前大学長 遠藤 正彦 | - 6 |
| 国立大学法人弘前大学設置記念式典式辞 | 弘前大学長 遠藤 正彦 | - 8 |
| 旧制官立弘前高等学校外国人教師館移築記念式典挨拶 | 弘前大学長 遠藤 正彦 | - 11 |

学内ニュース

| | | |
|----------------------------------|-------|----|
| 平成16年度弘前大学入学式を挙行 | ----- | 13 |
| ～学部・大学院生ら1,725名が入学，附属学校園でも入学式を挙行 | | |
| 弘前大学閉学式を挙行 | ----- | 14 |
| 国立大学法人弘前大学設置記念式典並びに旧制官立弘前高等学校 | ----- | 15 |
| 外国人教師館移築記念式典 - 国立大学法人弘前大学が始動 - | | |
| 学生就職支援センターを設置 | ----- | 16 |

学 事

| | | |
|------|-------|----|
| 学内紀要 | ----- | 17 |
| 外国出張 | ----- | 17 |

諸 会 議

| | | |
|-------|-------|----|
| ----- | ----- | 19 |
|-------|-------|----|

人 事

| | | |
|---------|-------|----|
| 新任役員等紹介 | ----- | 24 |
| 人事異動 | ----- | 27 |

主要日誌

| | | |
|-------|-------|----|
| ----- | ----- | 43 |
|-------|-------|----|

行事予定

| | | |
|-------|-------|----|
| ----- | ----- | 44 |
|-------|-------|----|

諸 報

| | | |
|---------------------------------|-------|----|
| 他大学等の自己点検評価報告書，研究者総覧等の保管・閲覧について | ----- | 45 |
|---------------------------------|-------|----|

学内規則

| | | |
|------------------|-------|----|
| 平成16年4月1日制定規則等一覧 | ----- | 47 |
|------------------|-------|----|

告 辞

弘前大学長 遠藤 正彦



皆さん、国立大学法人弘前大学、入学おめでとうございます。わずか5日前、国立大学法人弘前大学として出発した弘前大学は、さわやかな春の今日、国立大学法人化後、初めての入学式を挙行し、記念すべき第1回生としての皆さんをお迎えしました。皆さんが、本学に寄せる希望と同じくらい、私共も第1回生の皆さんに希望を寄せています。皆さんの新しい出発と共に、我国立大学法人弘前大学も出発です。皆さん、改めておめでとう。そして、皆さんの御家族の方々にもお祝いを申し上げます。

さて、皆さんの入学した国立大学法人弘前大学は、従来の国立大学とは異なって、大学の土地・建物は国から出資され、また、大学の教育、研究及び管理・運営に係る経費の約4割は、国から交付される運営費交付金で、やはり大部分は国民の税金によることとなります。しかし、残りの6割は皆さんの入学金や授業料等の自己収入と、科学研究費補助金や共同研究等による外部資金により、大学自己の責任において確保しなければならない、という運営方式がとられます。そして、同時に、大学の教育の実態や、研究の成果や管理運営方式が、絶えず評価されることになり、大学間での激しい競争が、強いられることとなります。このような新しい仕組みも、皆さんは理解した上で、皆さんの本学の卒業の日まで、教養と学問の専門性を身につけ、そして優れた体力と人格の形成に努めることを切に願います。

これから学ぶ場としての弘前大学とは、どんな大学なのかについて、少し話をしたいと思います。まず皆さんは、入学手続き等で、本学の文京キャンパスを訪れた時、キャンパスの正門に向かって右手に、草緑色をした古風な木造二階建ての建物に、気が付かれた方もおられるでしょう。気付いていなかったら、これからの話の中心となるその建物を、近く必ず見て欲しいと思います。

その建物は、本学の前身、旧制官立の弘前高等学校時代に、教鞭をとられた外国人教師のための宿舎で、ごく最近、この文京キャンパスに移築され、4日前の4月2日に国立大学法人弘前大学の設置記念式典に合わせて、移築記念式典が行われたばかりのものです。大正14年、今から79年前に建てられたもので、多くの古い建物が残っている弘前市でも、大正時代の建物としては大変珍しい建物です。この建物を中心に、弘前大学と、弘前大学の存在する弘前市について、話しをしてみましょ。

まず、弘前大学には、新入学の皆さんを含む学部学生を始め、大学院学生、附属学校園の生徒・児童・園児、教員、事務職員、技術職員を含めて、約10,000人が直接所属しています。そして、弘前大学には、人文学部、教育学部、医学部、理工学部、農学生命科学部の5学部から成る中規模の総合大学です。医学部の中には、全国最大規模の保健学科が含まれていますので、本学の内実は、6学部相当の規模であり、中規模大学といっても、大きい方の大学であることがわかります。これほど大きい大学が、なぜ県庁所在地ではない中都市・弘前市に存在するのかということ、大学進学で志望校を決める時、大学案内等を見て、疑問を持たれた方もおられるでしょう。

では、その弘前市とは、どんな街でしょうか。江戸時代、決して大きくはなかった10万石の津軽藩の城下町が弘前でした。徳川幕府は津軽藩をどう見ていたのでしょうか。少なくとも現在の東北地方に限ってみると、徳川家康を祭っている東照宮は、伊達藩の居城仙台と、この津軽藩の弘前と、出羽の国 出羽三山の3カ所のみでした。明治時代に入って明治政府は、陸軍の師団として、東北地方には第2師団を仙台に置き、第8師団をこの弘前においたのみでした。また、官立の高等学校は、仙台に第2高等学校と、山形に頭初第14高等学校として設置された山形高等学校と、そして頭初第16高等学校として設置された本学の前身・弘前高等学校のみでした。また、明治の初期には、当時、弘前県といわれた県の県庁所在地は弘前市でした。こうしてみると、弘前市はかつては名実共に、東北で仙台に

次ぐ第2の都市であったことがわかります。

本年入学の皆さんの6割は、青森県外の方々です。皆さんは市内の名所めぐりを済ませたかも知れません。この市民会館近く、弘前市役所前の市民広場には、キリスト教に関わる多数の明治時代の建物が保存されています。これは明治の初めに、東北地方のどの都市よりも早く、多数の外国人宣教師が弘前に住み着き、次々と教会を建て、そしてキリスト教系の2つの学校が設立されたからです。それらはすべて西洋風の建設物です。つまり、明治の初めには、諸外国も弘前市を東北の重要都市と位置づけていたことがわかります。

そして、当時の写真によると、このキリスト教系の建物以外にも、第59銀行本店、現在の青森銀行記念館、市立図書館、第8師団の偕行社を始めとする様々な施設、そして本学の前身旧制官立弘前高等学校の校舎や講堂といったものは、すべて西洋風の建物です。したがって、当時の弘前は、東北地方のどの都市よりも西洋風のハイカラな、つまり瀟洒な建物の建ち並んだ街であったに違いありません。こうして見ると、明治から大正にかけて、弘前市は北東北の政治、文化、学術の一大拠点であったことが伺われます。

では、その明治時代、一体誰がこの弘前の西洋風建築を建てたのでしょうか。それは、大工の棟梁、堀江佐吉さんという方でした。大工の棟梁とは、建物の設計から施行、大工の取りまとめまで、一切取り仕切る大工のかしらです。独学で西洋建築を学んで棟梁となり、今までお話ししたような、多数の明治の西洋風建設物を、弘前市に次々と建てました。それらの一部が、今日に伝えられて保存されているのです。

この棟梁、堀江佐吉さんの直弟子であり、副棟梁であった人に、川元重次郎さんという人がおりました。この人が大正14年に、旧制官立弘前高等学校の外国人教師館2棟を建てました。これが、今、本学の正門脇に建っている旧制官立弘前高等学校外国人教師館です。旧制官立弘前高等学校の同窓会誌には、この外国人教師館とそこに住まわれていた外国人教師のことが随所に書かれています。多くの学生に外国人教師が慕われていて、この外国人教師館で英語やドイツ語の勉強をしたり、外国の話をしていました。そして、決まってその外国人教師の夫人から、紅茶をご馳走になったことを、思い出深げに書かれています。当時の高校生と外国人教師との交わりが想像されます。

この外国人教師館のすぐそばに、津軽出身の作家、太宰治の下宿がありました。当時、弘前高等学校の生徒であった太宰治は、外国人教師館に居住していた英語教師、G・パーシー・ブルール先生と親交があったように推察されます。それは、英語教師のパーシー・ブルール先生が、太宰治を高く評価している文書が残っているからです。この太宰治の下宿は、太宰治下宿保存会の手によって保存されることになっています。

その外国人教師館は、第2次世界大戦直後に、最後の外国人教師、ドイツ語のロルフ・ビンケンシュタイン先生が帰国し、その後は旧制官立弘前高等学校及び、新制弘前大学の教官宿舎として、ごく最近まで使用されておりました。

余談になりますが、昭和になってから、母親が弘前市出身者であるところの世界的建築家・前川国雄さんというモダニズムの建築家が、弘前市に登場します。この方は、国内では京都府会館や東京文化会館を建築したことで有名ですが、昭和の7・8年に、堀江佐吉さんの子孫である堀江組と共に弘前電燈株式会社の社屋を建て、そして弘前で初めての鉄筋コンクリートの木村産業研究所を建築しています。そして、戦後、本日入学式の挙行されているこの市民会館や、この裏手にある弘前市博物館、そして弘前市役所、弘前市立病院等の建築物が次々と建てられ、堀江佐吉さんに代わる弘前市の建築物の一時代が築かれました。

このようなことを時代背景として、終戦後の昭和24年、今お話しした旧制官立弘前高等学校、青森師範学校、青森青年師範学校、青森医学専門学校と弘前医科大学とが統合されて、新制の弘前大学が発足しました。

その後、平成3年の大学設置基準大綱化という制度の改正を経て、人文学部、教育学部、医学部、理工学部、農学生命科学部の5学部体制になり、そして国立大学法人法によって5日前、国立大学法人弘前大学となったわけであります。

この国立大学法人化への準備を進めている中で、この外国人教師館の取り壊しの問題が起こりました。それは、この外国人教師館の建っていた弘前大学の土地の一部が、新設される県道の用地となり、残りの部分は財務省に返還することが既に決まっていたことによるものです。その外国人教師館を取り壊す工事の日が迫っていたある日のことです。本学の若手教官数名から、この外国人教師館は、旧

制官立弘前高等学校として唯一残っている建物であること、弘前市としては、大正時代の数少ない建造物の一つであることからの理由から、保存すべきであるとの要望書が提出されました。この要望を妥当と考えた学長は、各方面に声をかけたところ、旧制弘前高等学校同窓会（会長 前島郁夫氏）と弘前大学全学同窓会（会長 東海林恒雄氏）及び本学の教官らが中心となり、事務局（石戸谷忻一事務局長）をつくり、募金活動が開始されました。これに賛同した弘前商工会議所、弘前市観光協会、地元銀行等の経済界や、そして多くの市民が、この保存活動を支援しようと、その輪が広がりました。そして、文部科学省と弘前市教育委員会等の関係機関の了承の元に、文京キャンパスの敷地外の富田にあった外国人教師館2棟のうち東側の1棟の移築保存が決まりました。

この建物の移築を担当することになったのが、先にお話した明治時代に弘前市内に多数の洋風建物を建てた、堀江佐吉さんの3代目の直系子孫に当たる堀江組（社長 堀江敏志氏）となりました。この堀江組は、文化財としての古い建造物を保存や再建するという実績をもっておりました。外国人教師館が堀江佐吉さんの直弟子で副棟梁の川元重次郎さんによって設計、建築され、それが79年経た今、その堀江佐吉さんの子孫によって保存へ向けて工事されたと大変不思議な縁だと思います。この外国人教師館は丁寧に解体され、柱1本1本に、板1枚1枚にそれぞれ番号がつけられ、それが弘前大学構内は運ばれ、また番号通り組み立て直すという手作業を丹念に進めて、この3月末に移築を完成しました。それが、本学正門右手の、あの草緑色の旧制官立弘前高等学校外国人教師館です。

この旧制官立弘前高等学校外国人教師館は、今となってみると弘前大学の原点の一つとなる旧制官立弘前高等学校のシンボルであり、そして弘前大学の歴史を伝える歴史的財産です。その歴史の中には、大正から昭和にかけての旧制官立弘前高等学校の自由闊達な学問と、太宰治を引き合いに出すまでもなく、外国人教師と生徒との交わりの思いがぎっしりと詰まっています。本学にとりましては、本学を伝える最も古い歴史的建造物です。一方、弘前市にとりまして、明治時代の堀江佐吉の西洋風ハイカラ建築、その次の大正ロマンを伝える重要な文化財であり、その歴史を残そうとする弘前市民の思いが、この外国人教師館に込められています。

皆さんには、人口も決して多くはなく、また新幹線も通っていない、そして県庁所在地ではないが、しかし、東北地方では極めて重みのある歴史をもったこの弘前市に、5学部10,000人を擁する中規模総合大学が存在しているという意義を考えていただきたいと思います。ドイツのハイデルベルク市にあるハイデルベルク大学や、アメリカのミネソタ州ミネソタ市にあるメイヨークリニックは、小さな町に大きな大学があり、町そのものが大学であることで有名です。本学と姉妹校を提携しているアメリカ、メイン州立大学は、人口9000人のオロノー市にあり、ハンガリー、デブレッセン大学は、ハンガリー第2の大きい大学ですが、弘前市とほぼ同じ人口20万人のデブレッセン市にあり、ニュージーランドのトップクラスのオタゴ大学は人口12万人という小さな町ダニエデン市にあります。これらの大学は、いずれも町そのものが大学であり、大学そのものが町となっています。

この弘前市にとりまして、人口18万人の中の10,000人が、直接的に弘前大学に席を置く人々であり、その家族を含めると相当の数になります。本学が弘前市及びその周辺への経済、文化等へ及ぼす影響は大きいものであることがわかります。かつて、旧制官立弘前高等学校の生徒が、弘前市民から受け入れられ、弘前市にとけこんで勉学しておりました。それと同様に、学園都市弘前の中の国立大学法人弘前大学と言われるのにふさわしい大学となるために、皆さんもこの歴史ある弘前の中で、学生としての節度をもって輝いてほしいと願います。

終わりに、皆さんが4年または6年間、旧制官立弘前高等学校で代表される伝統ある国立大学法人弘前大学で学び、そして自然に囲まれたこの歴史のある弘前市で生活したことが無上の喜びであったと、卒業式に言えるような、有意義な学生生活を過ごされるよう希望して、告辞とします。

平成16年 4 月 6 日



告 辞

弘前大学長 遠藤 正彦



諸君，国立大学法人弘前大学大学院入学おめでとう。諸君は，国立の弘前大学が，5日前の4月1日，設置形態を変えて国立大学法人弘前大学として発足した，記念すべき大学院一回生として入学したことになります。また，本年4月よりかねて準備を進めていた大学院理学研究科博士後期課程が設置され，第1回生を迎えることになりました。国立大学法人弘前大学大学院一回生のすべての諸君に期待しております。諸君，重ねておめでとう。

さて，弘前大学は，国立大学法人弘前大学となりましたが，新しい国立大学法人弘前大学は，敷地，建物，教職員の数等は，従来の大学と何も変わ

ってはいません。しかし，何よりも設置形態が変わって，この大学の土地建物等は，国が出資したものとなりました。そして，大学の運営に関わる経費の多くは，運営費交付金として国から交付されるので，それは依然として国民の税金です。しかし，その運用は大学にまかされており，教育や研究に関わる経費や教職員の給与等は，すべて大学の責任において運用されることになりました。このため，大学の責任において自主・自律することが当然とされております。

その意味で，特に大学院の使命は，社会の求める専門的知識を備えた優れた人材を世に送り出すことであり，それは大学の責任であります。そして，その大学院が，如何に多くの卓抜した研究実績をつくり，科学立国としての我が国の学問や産業経済の発展に如何に寄与するか，また地域社会の発展に如何に寄与するかについて評価されることになります。

したがって，法人化された今，大学院の諸君に今まで以上の期待を寄せていますので，その期待に応えられるように，努力してほしいと願います。

そこで，これからの諸君の歩みの参考となるような，本学の大学院を修了し社会で活躍している諸君の先輩をご紹介します。

その方は，弘前大学大学院医学研究科を一昨年修了し，博士（医学）の学位を取得した鈴木克彦君です。鈴木君の略歴を紹介しましょう。鈴木君は愛知県の出身で，早稲田大学の人間科学部を平成3年に卒業し，続いて同大学の大学院修士課程を修了し，平成5年修士となりました。同君は，それまでの間，運動と免疫について学んできましたが，この点を更に一層深く学びたいと考えて，一念発起し，医学部に進学することを決意し，弘前大学医学部の個別学力試験の一般選抜試験を受験して合格し，入学しました。医学部入学当初から衛生学教室 菅原和夫教授の門をたたき，講義の合間に「ストレス」について勉強を始めました。在学中は普通の一般学生と同じように過ごしましたが，卒業後，何の躊躇もなく，弘前大学大学院医学研究科に進み，衛生学教室 菅原和夫教授及び中路重之助教授の指導の下で，「ストレスに関わるサイトカイン動態の研究，すなわち，人間が運動をしたり，又，様々なストレスを受けたときに，生体内の免疫応答システムがどのように作用するか」という問題について，本格的な研究に着手しました。

この大学院での研究は，着実に進み，大学院在学中，鈴木君が筆頭著者となった英文論文3篇，他の研究者が筆頭となった英文論文10篇，本人が筆頭著者となった和文の論文1篇を発表しました。そして，国内での学会発表は勿論，国際会議でも4回発表しました。特に西暦2000年，アメリカ，ボルチモア市で開催の第5回国際運動免疫学会では，その研究内容が卓抜していたので，若手研究者賞「Young Investigators Award」が授与されました。

本学大学院医学研究科には，研究科在学中に，試験に合格し，論文審査にパスした上で，特に優れ

た論文と認定されれば、修業年限4年を3年に短縮して大学院を修了し、博士（医学）の学位が授与されるという制度があります。

同君は周りの人の勧めもあって、この修業年限短縮を申請しました。医学研究科の論文審査は、本審査6ヶ月前に指導教官以外の3名の審査員による厳しい予備審査があって、そこで本論文作成についての補充実験等の指示があり、その後、本審査にて更に質疑応答することになっていますが、いずれも合格しました。医学研究科として、この修業年限短縮制度が発足してから、審査条件が厳しくて申請する学生が一人もおりませんでした。鈴木君は本制度第1号として学位が授与され、修業年限が短縮されました。

大学院修了後、同君は医学部衛生学講座の助手になりましたが、1年半後の平成15年10月、同君の最初の出身大学である早稲田大学人間科学部から強い要請を受けて、同大学の専任講師として赴任し、現在、同大学で活発に教育・研究を行っております。

この指導教官 菅原和夫教授は、同君の人柄を、集中力があり、根気強く、そして研究室内の教職員、同僚や後輩とのコミュニケーションがきわめて良いという人物であると評価しております。

私も同君の学生時代を知る者の一人ですが、講義、実習、大学院セミナーを通して、特に際立った強い印象を持ってはいませんでした。同君が修業年限短縮の申請を出したことを聞いて、なるほどと、すぐ得心がいった程に、実は謙虚に着実に勉強していた学生であったという印象をもっていたことに気が付きました。私は、鈴木君が学問的興味を持ち続けて、それに向かって努力し、結果として国際学会から表彰され、そして大学院の修業年限が短縮される程に努力したことを、高く評価しています。勿論、同君が良き指導者 菅原和夫教授と中路重之助教授にめぐり合ったことも幸いでいたと思います。

しかし、私は何よりも、同君の学問への好奇心と、それを探求するにあたっての根気強さを高く評価して、これから大学院で活躍する諸君の参考になればと、今日ここで紹介致しました。諸君も、今日の大学院入学式に臨んで、何かを目標にしてがんばってみることを、お勧め致します。

本学は、国立大学法人化に備えての大学院の活性化について、以下のような様々な工夫をしてきました。ただ今お話しした「大学院修業年限短縮制度」は、現在、医学研究科のみですが、逆に家庭の都合等により修業年限を延長して修学する「長期履修学生制度」もあります。また、本学では仕事を有して社会で働いている人のキャリア・アップのために、「社会人入学」を積極的に勧めています。この社会人入学の中で、弘前より遠隔の地で働いている大学院生のために、遠隔授業として教官が青森に出張して講義する「青森サテライト教室」を青森市に開設しています。

また僻地で勤務している大学院生の授業のため、「双方向型テレビ会議システム」を用いたリアルタイムの授業を行い、既に6年続いています。また本年よりインターネットを用いた「インターネット授業」が開設されました。また、学外からの日本育英会等の「奨学金制度」も活用できますし、「日本学術振興会の奨励研究員制度」もあり、本学の大学院生も採用されております。また、「ティーチング・アシスタント制度」及び「リサーチ・アシスタント制度」、すなわち大学院生が在学しながら、後輩の実習や研究の指導又は指導教官の研究補助をすること等によって、手当が支給される制度も運用されています。また、大学院在学のまま、海外又は国内の教育研究機関に長期出向して教育を受け、又は研究指導を受ける「留学制度」も盛んに活用されているところです。

諸君は、これらの制度を大いに活用して、充実した大学院生活を送ってほしいと願います。

諸君が大学院での研究業績をあげることは、自己の専門的知識や専門的思考法の向上のために重要であることは当然です。また、同時に社会に出て必ず様々な場面でリーダーとなる諸君には、自己の教養や、人間性の陶冶も必要であります。そして、大学院での成果は、これから社会に出る者の評価の対象となるものとして重要であります。それと同時に諸君を指導している大学自身の評価を高めることにもなります。そして、このような優れた人材を、社会に送り出すことは、大学の責任の一つです。

国立大学法人化後の大学の研究は、文系も理系も、好奇心旺盛な若い活力のある大学院学生の所属する大学院に、その重点をおかざるを得ません。その意味で、大学の評価がかかっていることとなります。諸君が優れた人材としてこれから育っていくことと同時に、国立大学法人弘前大学の評価が、諸君の手で高められることを非常に期待しています。

最後に、国立大学法人弘前大学大学院の名誉ある一回生諸君の、大いなる活躍を期待するエールを諸君に送り、告辞とします。

平成16年 4 月 6 日

式 辞

弘前大学長 遠藤正彦



本日、平成16年3月31日をもって、国立の弘前大学は閉学し、明日、平成16年4月1日、設置形態を変えて、国立大学法人弘前大学として新たに設置されます。この弘前大学の閉学式に当たり、国立の弘前大学最後の学長として、所感を申し上げます。

我が弘前大学は、大正9年設置の旧制弘前高等学校、明治9年設置に端を發する青森師範学校、昭和6年設置に端を發する青森青年師範学校、昭和19年設置の青森医学専門学校、及び昭和23年設置の弘前医科大学の5校を包括して、昭和24年5月31日、新制の弘前大学として設置されました。以来、本日まで54年10ヶ月の年月を重ねてきました。

た。その間、昭和30年農学部を設置、昭和40年文理学部の改組による人文学部、理学部及び教養部の設置、昭和50年医療技術短期大学部の設置等がなされました。

そして、平成3年の大学設置基準の大綱化に伴う全学的改組により、現在の人文学部、教育学部、医学科と保健学科を含む医学部、理工学部そして農学生命科学部よりなる5学部体制となり、加えて各学部それぞれを基にした大学院研究科と大学院地域社会研究科を持ち、また附属病院、保健管理センターを初めとする多数の大学附置施設・センター及び附属学校園を併設し、学問のほぼ全領域をカバーする北東北に位置する中規模総合大学として発展してきました。これが昨年、平成15年10月1日、国立大学法人法の施行に基づいて、弘前大学は、国立大学法人弘前大学に設置形態を変えることになったものであります。

我が弘前大学は、これまで41,243名の学部卒業生、5,163名の短期大学部の学科・専攻科の卒業生、3,584名の大学院・専攻科の修了生、合計49,990名の優れた人材を送り出しました。研究においては医学部 高橋信次教授の文化勲章に至ることになった横断撮影の考案、医学部 臼淵 勇教授による世界で初めての実験肉腫「弘前肉腫」の樹立、文理学部 小島 尚教授のドイツ語同意語小辞典の編纂、農学生命科学部 塩崎雄之輔教授のりんご新品種「こうこう」作出、教育学部 村越 潔教授による縄文文化三内丸山遺跡の発掘等、世界に誇り得る数々の業績をあげてきました。

また、弘前大学山岳部、医学部山岳部及びそのOB山岳会が昭和54年、パキスタン・カラコルム山脈・テラム・カンリ3峰、標高7,382メートル、及び昭和58年ネパール・ヒマラヤのヒムルン・ヒマール標高7,126メートルの世界初登頂及びアルタイ山脈（全長330キロメートル）の世界初縦走等の快挙を成し遂げました。

また、北見工業大学 厚谷郁夫前学長を始め、本学卒業生の国内外での様々な活躍があります。海外での活躍で特筆すべきことは、医学部、教育学部、人文学部のチームによるJICA国際協力事業団との連携により、ジャマイカ国での7年間に渡る保健強化プロジェクトチームの活動や、昨年、重症急性呼吸器症候群SARSが世界中で猛威を振っていたとき、世界で一番目にSARS制圧をしたベトナムの制圧の指導者が、本学医学部の昭和54年卒業の小原 博医師であります。また、ニューヨークで活躍中の国際的カメラマン三戸 建秀さんは人文学部の出身、ジャマイカでレゲエ音楽で活躍しているのは農学部出身の石嶺琢也さんです。

このように、弘前大学には約55年培った教育・研究の実績と伝統があり、これに基づく卒業生のめざましい活躍があります。これらの実績と伝統は、新設される国立大学法人弘前大学に間違いなく受け継がれ、新しい国立大学法人弘前大学の基礎となることは明らかであります。

新製の国立大学として出発した弘前大学にも様々な危機がありました。その中で最も特筆しなければならないのは、昭和40年代のいわゆる大学紛争と、平成3年大学設置基準大綱化による教養部廃止をスタートする全学的学部改組でありました。

いずれの場合も、本学の先輩及び現役の教職員学生の良識と沈着冷静な行動により、危機を乗り越えてきました。心からの敬意を表します。

この度の国立大学法人への転換に際しましては、国立大学法人化への様々な問題と不安を抱えながらも、法人化へ進むことを決意しました。このため、教官と事務職員は対等で、車の両輪であるとの考えから、教官職員を全員網羅する形で組織された、国立大学法人化委員会の下に結集し、全構成員の意見を反映させる積み上げ方式で進んでまいりました。この結果、他大学に比べ、国立大学法人化の準備が遅いとの批判を受けながらも、特に大混乱もなく、全構成員の絶大な支持と協力の下に、結局は他大学より早く、国立大学法人化へのすべての準備を終えるに至りました。学長として全構成員の決断と協力に感謝と御礼を申し上げます。

国立大学法人化後の弘前大学のおかれている状況は、立地する青森県の産業財政基盤の脆弱さや、人口の少子化に伴う入学志願者の激減や、中央の大学との大学間格差の拡大、運営費交付金の配分額の少なさ等々、様々なハンディを背負っております。しかし、このハンディを嘆いても、既に大学間の競争が走り出している以上、このハンディをものともせず、明日からの国立大学法人化に立ち向かわなければなりません。

旧制弘前高等学校、青森師範学校、青森医学専門学校の時代を弘前大学の第1期黎明期、国立の弘前大学を第2期の充実期とすると、明日からの国立大学法人弘前大学は第3期の発展期と位置づけられます。この国立大学法人弘前大学の発展に向けて、弘前大学の全教職員学生の英知と努力が結集されることを強く念願致します。

終わりに臨み、今まで弘前大学の輝かしい歴史のために力を尽くして下さった先輩、現役の全教職員・学生に対し、深甚なる敬意と感謝を表し、合わせてこの弘前大学の輝かしい歴史を、国立大学法人弘前大学の中で更なる発展があることを衷心より祈念し、閉学の辞と致します。

平成16年3月31日



式 辞

弘前大学長 遠藤正彦



昨日、平成16年4月1日、国立の弘前大学は、国立大学法人法に基づき、その設置形態を変えて国立大学法人弘前大学として設置され、再出発致しました。この設置記念式典の開催に当たり、青森県知事 三村申吾 殿、弘前市長 金澤 隆 殿を始めとする各界の多数の代表の方々のご来臨を賜り、大変光栄に存じます。厚く御礼を申し上げます。国立大学法人弘前大学は、昨日より新たな歩みを始めましたので、各界の皆様には、新たな視点から御指導、御教示を賜りたくお願い申し上げます。

さて、国立大学が一斉に国立大学法人化された理由を、私共は以下のように受け止めております。第1には、昭和23年発足しました新制大学が、以後50年以上の歳月を経ましたが、この間、制度疲労を起こしてきたこと、また科学立国として見ると、国立大学の国際競争力が低下したこと、及び国立大学をとりまく国家的財政が悪化していること等に対応する根本的見直しが必要になったことにあります。第2には、大学進学率の上昇による大学の大量化と、大学数の増加の一方、逆に人口の少子化が進み、大学入学志願者の激減による定員割れが迫っていることにあります。第3に、これらの国立大学の状況の悪化に対する大学構成員の危機意識の欠如による意識の変革が進まないことにあります。このようなことが、国立大学法人化を強く促したものと考えます。

その結果として、国立大学法人法が、平成15年10月1日に施行されました。この国立大学法人が、従前の国立大学とは異なる点を要約しますと、以下のようになります。第1に各大学に法人格を付与することにより、自主・自律の運営を確保できること、第2に、民間的発想のマネジメント手法を導入し、資源を最大限活用した経営が行われること、第3に、学外の有識者及び経営の専門家等を経営に直接参画させることにより、経営の透明性と効率性を高めること、第4に、構成する教職員を非公務員型にすることによって、弾力的人事システムにすること、第5に、第三者評価システムを導入して、評価結果、財務内容、教育研究の成果を公表し、且つ、その評価を大学経営に直接反映させること等が、国立大学法人の新しい制度の内容であります。

旧弘前大学では、国立大学法人法にのっとり、法人化後の理念・組織・管理運営等について検討を行いました。その結果の概略は、以下の通りです。弘前大学の目標としては、弘前大学は人文学部、教育学部、医学部、理工学部、農学生命科学部の5学部から成る、幅広く学問の領域をカバーしている地方の「中規模総合大学」であります。そこで、この特性を最大限生かし、弘前大学のモットーである「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」の実現に向けて、教育、研究及び地域貢献の3本柱を中心に展開することとしました。特に地域との関わりを従来以上に重視することとしました。

その教育のあり方については、社会に優れた人材を供給することを第1の目標とし、このため総合大学であることの特性を生かし、幅広い教養教育と、きめの細かい専門教育を中心に地元で活躍する独創的人材育成に重点を置くことにしました。

研究は、人文科学、社会科学、及び自然科学の融合を図りながら、国際的レベルにある研究、時代を先取りする先見性ある基礎的研究、及び地域に貢献する研究の3項目を重点研究として、強力に推

進することとしました。

地域貢献については、弘前大学の立地する青森県が、人口過疎化、少子化、及び高齢化が進む農業県であることを踏まえ、地域発展への貢献及び産学官の連携強化を図ることとしました。

次に大学の管理運営システムは、国立大学法人法にのっとり、「学長」の他、法で定められた「理事」5名から成る「役員会」と、国立大学法人の業務を監査する「監事」2名と、学長を選考する「学長選考会議」をすえ、経営、特に予算、給与等の大学の経営に関する事項を審議し、学外の委員を半数含む「経営協議会」と、教育と研究に関することを審議する「教育研究評議会」の2つの機関が設置され、昨日既に審議を開始しております。

尚、学外者としての理事、監事及び経営協議会委員の選任については、冒頭に申し上げたように、地元との連携強化の立場から、理事については青森県知事に、経営協議会委員の1名については弘前市長に人選をお願いしました。また、その他の学外委員は、地元の諸団体の御意見を伺い、他の大学とは異なって、すべて地元の第一線で御活躍中の方々の御就任をお願い致しました。

さて、このような態勢で、新しい弘前大学が発足しても、弘前大学には様々な問題があり、それらの対応が必要なので種々検討を進めてきました。

まず第1に、青森県を中心とした北東北は、人口の過疎化と少子化が進んでおり、入学者定員割れが迫っております。これに対応するには、学外から魅力ある大学と映るべく、教育のレベルをあげる必要があります。現在、入学試験制度の抜本的見直し、教育カリキュラムの見直し、課外活動の奨励、及び「就職支援センター」を発足させての就職支援活動を進めています。

次に弘前大学の研究を推進させること、それは大学の評価と魅力を高めることになるのですが、その研究推進のために、「研究の重点化」、すなわち特定研究に対して重点的に研究費を配分することや、「機器分折センター」の充実を進めてきました。特に人文科学、社会科学、芸術的領域の研究成果発表を推進するという視点から、「弘前大学出版会」の設立が準備され、近く独自の出版事業が展開される予定です。

地域貢献、地域連携が本学にとって重要であるとの立場から、その窓口となり、実際の活動をしている「地域共同研究センター」と「生涯学習教育研究センター」を強力に強化するべく、準備を進めております。現在既に、弘前大学のサテライトとして、「八戸サテライト」と「青森サテライト教室」が設置され、地域連携の拠点として活動しております。また、昨日、4月1日、東京都の東京駅八重洲口住友生命八重洲ビル5階の青森県東京プラザ内に、「国立大学法人弘前大学東京事務所」を開設致しました。この開設には、三村申吾青森県知事の全面的御支援によるものであり、今後、青森県と共に歩む弘前大学の東京での産学官連携活動の拠点となります。

この他、近く東京都内に地方大学連携の拠点としての「東京事務所分室」の開設が決定している他、県内数力所のサテライトの設置が予定されており、弘前大学の地域連携のネットワークが形成されることとなります。

次に財政関係ですが、国立大学法人設立にあたって国から本学に出資された財産は、現在の土地・建物及び設備等がそのまま承継された形になりますが、その評価総額は約596億円です。このままでは、従来から指摘されていたように、本学のキャンパス敷地の狭隘さは深刻な問題のまま継続されることとなります。

一方、弘前大学の運営経費の、平成16年度分についてですが、大学を構成する教職員、及び学生の定員を算定の基準とした運営費交付金の総額は、約118億円、学生の入学料、授業料、附属病院収入等の自己収入の合計が約139億円、そして国立大学法人化の運営上、最も期待されている共同研究、科学研究費等の外部資金の収入予定総額は、せいぜい9億円です。これらのことは、大学規模を反映した運営費交付金の少なさ、地方大学の附属病院の経営状況の悪さ、そして地方の人口過疎地の産業経済を反映した外部資金導入の難しさ等、これらは地方の大学における大学間格差及び地域間格差の表れであり、弘前大学においては大層深刻な問題であります。

しかし、この状況をいくら嘆いていたとしても、そこからは何も生まれてはこないのです、弘前大学は勿論強力に地域連携を強化する方策を講じることにしました。この財政状況に危機を感じた弘前大

学の内外の有志の方々により、「弘前大学後援会」が設立され、弘前大学支援態勢の一つができました。

以上、申し上げました通り、国立大学法人弘前大学の新体制が構築されました。しかし、弘前大学を取り巻く環境は厳しいものです。丁度このような時、大変希望の持てる問題が起こりました。それは、弘前大学の前身、旧制弘前高等学校の外国人教師館の移築の運動が起こり、この度、その移築を完了し、本日、この後、移築記念式典が行われる予定です。この外国人教師館の移築に合わせて、学内の整備を始め、大学キャンパス全体を「公園化」するべく、その第一期工事が終了し、装いも新たに国立大学法人化を迎えることができました。

既に大学間の激しい競争に突入しております。国立大学法人弘前大学には、大学間格差、及び地域間格差のハンディがあり、本学の状況は厳しいものがあります。しかし、むしろ現状を直視して、地方大学としての原点に戻り、弘前大学の地方における使命は何であるかを考えてまいります。その上で、これからの本学は、地元にしかりと根をおろして努力致す所存ですので、青森県各界の方々には、よろしく御指導の程、お願い申し上げます。

これをもって、国立大学法人弘前大学設置にあたっての御挨拶と致します。

平成16年4月2日



挨拶

弘前大学長 遠藤 正彦



本日、国立大学法人弘前大学設置記念式典挙行に合わせて、旧制官立弘前高等学校外国人教師館移築完成記念式典を挙行できますことを大変嬉しく思います。この移築完成記念式典に、青森県、弘前市、弘前市教育委員会、弘前商工会議所、弘前市観光協会、みちのく銀行、青森銀行を始めとする経済界、産業界等々、多数の重鎮の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございました。更には旧制弘前高等学校同窓会^{まえしまいこう}前島郁雄会長他、多数の同窓会会員、そして弘前大学全学同窓会^{しやうじつこう}東海林恒雄会長他、多数の同窓会員が、全国からは参じて下さいました。これらの方々は、皆等

しく、この旧制官立弘前高等学校外国人教師館に、弘前市の大正ロマンに思いを寄せ、また旧制弘前高等学校の歴史の重みを感じ、この度の移築に全面的に御支援下さった方々ばかりでございます。厚く厚く御礼申し上げます。

この旧制官立弘前高等学校外国人教師館が、ここに移築されるまでに至った経緯を簡単に御報告申し上げます。

旧制弘前高等学校が、大正9年11月に設置され、現在の弘前大学のあるこの土地に、ハイカラな西洋風の校舎や講堂が、当時の弘前市の名棟梁^{ほりえさきざち}堀江佐吉さんによって建てられました。そして、大正14年、今から79年前、この地よりほぼ東側200メートルの富田3丁目に、前述の堀江佐吉さんの直弟子で副棟梁の川元重次郎さんによって、外国人教師館が2棟建てられました。この外国人教師館には、英語、ドイツ語を教育する外国人教師が家族と共に住んでおりました。

第2次世界大戦終了直後に、外国人教師が帰国し、その後は旧制弘前高等学校の教官が住まわれました。

昭和24年、旧制弘前高等学校、青森師範学校、青森青年師範学校、青森医学専門学校及び弘前医科大学を統合して、新製の弘前大学が発足し、この旧制官立弘前高等学校外国人教師館は、新制弘前大学に引き継がれ、教官宿舍として、一昨年まで使用されてきました。

しかし、この土地は、弘前市の市街整備事業の一環として県道を新設するルート上にあり、また、国の方針として、大学本部キャンパスから飛び地である利用度の低い土地は、国に返還することになっており、国立大学法人化を間近に控え、その処分が急がれておりました。

その処分のため、問題の外国人教師館の取り壊しが迫っていた今年の7月、本学の教育学部^{よしのあきら}芳野明助教授を始めとする教育学部及び人文学部の若手教官から『この外国人教師館は、旧制弘前高等学校の建物として残っている唯一の建物であること、また弘前市における大正時代の建物として残されている数少ない建物の一つであること、大学として保存すべきである』との要望書が提出されました。学長としても即座にこの保存を決定し、学内の同意を取り付けて、保存に向けて活動を開始しました。しかし、多数の難問が山積しておりました。

まず、この建物の取り壊しの工事の中止と保存についての手続きに関するものです。本学事務局が、関係機関、すなわち文部科学省、青森県庁、弘前市及び同教育委員会と折衝しましたところ、すべて特段の御高配を賜り、大学側の要望についてお認めをいただきました。工事開始直前でもあり、事務

的には不可能と思いつつもお願い致しましたところ、関係機関がこの保存の重要性を御理解下さって、直ちに検討に入り、素早く然るべく御決断下さいましたことは、この保存工事の第一歩であり、その御決断に深い敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

第2には、移転に関する費用の問題です。弘前大学は、国立大学法人化の準備のために、多大の経費を使っており、種々捻出しても不足を生じます。そこで、直ちに旧制弘前高等学校同窓会長 前島郁夫様に御相談致しましたところ、同窓会幹事会を開催し、弘前大学全学同窓会 東海林恒雄会長と更に協議した結果、募金活動を開始することとなりました。この活動に弘前大学の教官も参加することとなり、募金活動の事務局長に弘前大学全学同窓会 石戸谷忻一副会長が就任され、募金が開始されました。

この移築のことが地元新聞で報道された結果、多くの方々の賛同を得ました。弘前商工会議所、弘前市観光協会、みちのく銀行及び青森銀行を始めとする産業経済界の絶大な御支持を得て、目標額に達することができました。厚く御礼申し上げます。

第3の問題は、移転先の敷地と工事の事です。この外国人教師館は、今、この地に建っておりますが、実は弘前大学の国立大学法人化後の再開発計画では、この地の利用が決まっておりました。しかし、外国人教師館を旧制弘前高等学校の歴史を伝えるシンボルとして、また、開かれた大学として市民に開放するには、弘前市道に面したこの土地以外にはないと事務局の判断により、この地に決定しました。この土地は実は旧制弘前高等学校の幹部教官の宿舍跡地でもあり、その意味で、本当に良い場所であったと思っております。事務局の御英断に御礼申し上げます。

次に移築工事業者の件ですが、幸い株式会社堀江組 堀江敏志社長に決まりました。堀江敏志さんは、明治時代、日本の5大名棟梁と称せられ弘前市内に数々の西洋風の建物を建築された堀江佐吉氏から数えて3代目の直系の方で、今までにも弘前市内の文化財の移築保存を手がけてきた実績があります。この外国人教師館が堀江佐吉さんの直弟子で副棟梁の川元重次郎さんにより建築され、そして堀江佐吉さんの直系の子孫によって移築されましたことは、大変に因縁深いことで、この外国人教師館の歴史に新しい一頁を加えたこととなります。工事は堀江組により、外国人教師館として建っていた2棟のうち、東側の1棟について、この度、移築が完成しました。

こうして、皆様のお力で移築を完了し、今ここにその姿を表しています。この外国人教師館の外装の、この緑色についてですが、外国人教師館は建築後何度もペンキによる塗装が行われていたそうです。それを調べてみると、その最も内側、すなわち建築当時のペンキの色がこの色だったそうで、建築当初の色を復原させたこととなります。大正時代のロマンを感じます。

この外国人教師館には、国立大学法人弘前大学の前身、旧制弘前高等学校の思いがぎっしりと詰まっております。私共は、この外国人教師館を市民に開放しながら、旧制弘前高等学校の歴史の重みを感じ、この外国人教師館を保存せよと励まし、支援された関係各位の思いを後世に伝えるべく、守ってまいることをお誓い致し、御挨拶と致します。

平成16年4月2日



平成16年度弘前大学入学式を挙行

～学部・大学院学生ら1,725名が入学

附属学校園でも入学式を挙行～

国立大学法人となって最初の弘前大学入学式が、4月6日（火）午前10時から弘前市民会館において各学部の新入生らを迎え、厳かに挙行されました。

式典は、これからの大学生活に期待を膨らます新入生らが待ち受ける中、遠藤学長の入学式告辞で始まりました。

続いて、新入生代表の医学部阿部学さんによる学生宣誓、部局長及び役員の紹介があり、最後に本学名誉教授の安達弘潮先生の指揮のもと、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団及び弘前大学混声合唱団による「弘前大学学生歌」が演奏され、晴れの式典が終了しました。

当日は穏やかな晴天に恵まれ、市民会館前の駐車場では、記念撮影する父兄やサークルへ勧誘しようと様々な趣向を凝らして集まった学生等で、いつもながらの賑やかな歓迎風景が見られました。

また、弘前大学大学院入学式は、同日13時から創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、教育学部附属学校園の入学式・入園式は、小・中・養護学校が4月7日（水）、幼稚園が4月12日（月）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

今年度の入学者数は、次のとおりです。

学部（1,403名）

| | |
|---------|------|
| 人文学部 | 358名 |
| 教育学部 | 252名 |
| 医学部 | 288名 |
| 理工学部 | 317名 |
| 農学生命科学部 | 188名 |

3年次編入学（63名）

| | |
|---------|-----|
| 医学部 | 42名 |
| 理工学部 | 5名 |
| 農学生命科学部 | 16名 |

4年次再入学（1名）

| | |
|---------|----|
| 農学生命科学部 | 1名 |
|---------|----|

大学院（258名）

| | |
|----------------|-----|
| 人文社会科学研究科 | 15名 |
| 教育学研究科 | 42名 |
| 医学研究科 | 39名 |
| 理工学研究科（博士前期課程） | 92名 |
| 理工学研究科（博士後期課程） | 9名 |
| 農学生命科学研究科 | 52名 |
| 地域社会研究科 | 9名 |

附属学校園（394名）

| | |
|------|------|
| 小学校 | 125名 |
| 中学校 | 200名 |
| 養護学校 | 17名 |
| 幼稚園 | 52名 |



弘前大学閉学式を挙

1949年(昭和24年)5月31日、弘前高等学校、青森師範学校、青森青年師範学校、弘前医科大学、青森医学専門学校を包括して創設された新制弘前大学は、本年4月1日からの国立大学法人化により、3月31日をもって国立大学としての創立後55年の歴史を閉じることになります。

このことを受け、3月31日(水)午後3時から弘前大学閉学式が50周年記念会館みちのくホールにおいて厳かに挙行されました。

式では、出席された多数の教職員を前に、遠藤学長から「終わりに臨み、今まで弘前大学の輝かしい歴史のために力を尽くしてくださった先輩、現役の全教職員・学生に対し深甚なる敬意と感謝を表し、合わせてこの弘前大学の輝かしい歴史を、国立大学法人弘前大学の中で更なる発展があることを衷心より祈念する」旨等の式辞が述べられました。

また午後5時から、部局長等による弘前大学惜別会が弘前大学生協スクーラムにおいて催されました。



遠藤学長式辞



惜別会の模様

国立大学法人弘前大学設置記念式典並びに 旧制官立弘前高等学校外国人教師館移築記念式典 - 国立大学法人弘前大学が始動 -

平成 16 年 4 月 1 日から、国立大学法人弘前大学が始動しました。4 月 1 日（木）には、学長、役員等各々の辞令交付があり、初の役員会、教育研究評議会、経営協議会、学長選考会議、経営協議会・教育研究評議会合同会議が開催され、中期目標・中期計画（案）、諸規則等の事案を審議承認されました。

翌 4 月 2 日（金）には、10 時から国立大学法人弘前大学設置記念式典、引き続き 11 時 40 分から旧制官立弘前高等学校外国人教師館移築記念式典が、約 200 名の出席者のもと 50 周年記念会館みちのくホールにおいて厳かに挙行されました。

設置記念式典では、学内関係者、県内自治体関係者、教育機関関係者、県内企業等多数の関係者が出席され、遠藤学長式辞の後、来賓の雨森青森県知事代理、金澤弘前市長からの祝辞等があり、国立大学法人としての弘前大学の門出を祝いました。

遠藤学長からは「弘前大学をとりまく状況は、少子高齢化による大学入学志願者の減少、中央の大規模大学との大学間格差、地域間格差等厳しいが、国立大学法人弘前大学の発展に向けて弘前大学全教職員・学生の英知と努力が結集されることを強く望みたい」との挨拶がありました。

移築記念式典では、遠藤学長挨拶の後、来賓の前島旧制弘前高等学校同窓会長、東海林弘前大学同窓会長からの祝辞等があり、最後に、学長並びに来賓の方々 7 名によるテープカットが盛大に行われました。

また、それぞれを記念した合同祝賀会が大学会館で行われ、遠藤学長挨拶の後、来賓の佐々木青森県工業会会長、小野旧制弘前高等学校同窓会からの祝辞があり、吉田前弘前大学長の音頭により声高らかに乾杯が行われ、終始和やかな雰囲気の中、大学の法人化及び外国人教師館移築の完成を祝いました。

国立大学法人弘前大学が、今後大いなる飛躍を遂げるであろうことが実感される一日となりました。



設置記念式典での遠藤学長式辞



外国人教師館移築記念式典での遠藤学長挨拶



外国人教師館移築記念式典でのテープカット



合同祝賀会での吉田前学長による乾杯

学生就職支援センターを設置

本年4月1日、学生就職支援センター（以下「センター」という。）が、大学会館2階に設置されました。

法人化に当たり就職に対する評価の重要性が増すことから、本学中期目標・中期計画にセンター設置を掲げ、就職対策協議会の下に、学生就職支援センター（仮称）設置準備室を置き検討を進めてきたものです。

センターは、全学的立場で各学部及び学生の就職支援を行うことを目的とし、迅速な判断・実行性を図るため理事（教育・学生担当）直轄の組織として位置付けられたほか、センターと学部の就職支援策の連携を強化するためセンター兼任教員には、学部の就職に関する委員会の委員長相当職にある教員を充てています。

平成16年度のセンター事業計画の主なものは、次のとおりです。

早期から職業意識を啓発するために、21世紀教育枠で2年生以上を対象とした「社会と私 - 仕事を通して考える -」（前期2単位）の実施。この授業は、既に4月13日から開講し、第2回目（4月20日）は遠藤学長を講師に迎え、今後外部から11名の講師をお迎えする予定です。（4月20日現在の履修希望者：217名）

就職ガイダンス、合同企業説明会、業界研究会、個別企業セミナー（説明会）の企画及び実施。このうち、合同企業説明会は来年2月14日、県立武道館を会場に実施する予定です。

就職相談の充実を図る。本年度から通年で実施することとし、既に、4月1日から企業の就労経験を有する専任職員（非常勤職員）1名を置き、月平均60名の割合で学生の就職相談に応じています。

就職支援システムを構築する。このシステムは学生側、求人側及び大学側三者の情報を、それぞれ必要とするところへ迅速に提供するとともに、きめ細かな対応を図ることを主な目的としています。現在、専任の職員（非常勤職員）を置き準備を進めています。

就職支援策について調査・研究し、一層の充実を図る。

なお、センターの構成員は、次のとおりです。

| | | | |
|-------------------|---------|-------------------|-------------------|
| (併)センター長 | 副センター長 | 兼任教員 | 任期：16.4.1～18.3.31 |
| 須藤新一（理工学部教授） | 専任教員 | 保田 宗良（人文学部教授） | |
| 任期：16.4.1～18.3.31 | （採用審議中） | 肥田野 豊（教育学部助教授） | |
| | | 阿部テル子（医学部助教授） | |
| | | 鮫島 正純（農学生命科学部教授） | |
| | | 就職相談員（専任） | |
| | | 岩澤 孝二 | |
| | | 濱田 千夏（就職支援システム担当） | |

センターの事務は、学務部学生課就職支援係（内線3134，2118，2117）が担当しています。

学内紀要

医学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

弘前医学第55巻第3/4号(平成16年3月31日発行)

弘前大学医学部保健学科紀要第3巻(平成16年2月27日発行)

外国出張

| 官職 | 氏名 | 渡航目的 | 目的国 | 期間 |
|--------------------|-----------------|---|----------|-------------------------|
| 助教授 (人) | 森 樹男 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 連合王国 | 16.2.22 ~ 16.3.27 |
| 助教授 (人) | 小谷田文彦 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 連合王国 | 16.2.22 ~ 16.3.27 |
| 教授 (人) | カーペンター, ピクサー | 海外の大学の調査研究・視察のため | 大韓民国 | 16.3.25 ~ 16.3.30 |
| 教授 (医) | 藤 哲 | 第50回整形外科基礎学会・アメリカ整形外科学会出席及びピッツバーグ大学研究施設見学並びに今後の研究の打合せ | アメリカ合衆国 | 16.3.8 ~ 16.3.17 |
| 講師(研究機関研究員) (医) | 三浦和知 | 第50回整形外科基礎学会・アメリカ整形外科学会にて研究資料収集 | アメリカ合衆国 | 16.3.5 ~ 16.3.21 |
| 総務課専門職員 (医) | 長尾久好 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 連合王国 | 16.3.22 ~ 16.3.27 |
| 管理課課長補佐 (医) | 古川文男 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 大韓民国 | 16.3.25 ~ 16.3.30 |
| 教授 (医) | 藏田 潔 | 第14回運動神経制御学会出席及び資料収集 | スペイン | 16.3.27 ~ 16.3.31 |
| 教授 (医) | 正村和彦 | オタゴ大学医学部I.S.McCrennan準教授の研究グループとの共同研究構築 | ニュージーランド | 16.3.29 ~ 16.4.11 |
| 助手 (医) | 目黒玲子 | オタゴ大学医学部 Neuromuscular Research Groupの研究及び解剖学教育に参加 | ニュージーランド | 16.3.29 ~ 17.2.20 |

| | | | | |
|----------------|--------------|--|----------------|--------------------|
| 助教授 (病) | 佐々木泰輔 | 第16回ヨーロッパ放射線学会ECR2004出席及び発表 | オーストリア共和国 | 16.3.5 16.3.10 |
| 助教授 (理工) | 市村雅一 | 「高エネルギー一次宇宙線の化学組成とエネルギースペクトル」の研究のため(在外研究員) | アメリカ合衆国 | 16.3.15 17.1.14 |
| 助教授 (理工) | 阿布里提 阿布都拉 | 海外大学の調査研究及び共同研究の打合せ等のため | 中華人民共和国 | 16.3.16 16.3.28 |
| 助教授 (理工) | 水田智史 | 第19回コンピュータとその応用に関する国際会議に参加するため | アメリカ合衆国 | 16.3.17 16.3.22 |
| 教授 (理工) | 吉岡良雄 | 中国重点大学のインターネット状況の調査のため | 中華人民共和国 | 16.3.25 16.3.31 |
| 技術専門職員 (理工) | 葛西昭治 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 連合王国 | 16.3.21 16.3.27 |
| 助教授 (農) | 石川隆二 | 共同研究者と論文打合せのため | アメリカ合衆国 | 16.3.9 16.3.18 |
| 事務長 (農) | 船澤陸郎 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 中華人民共和国 | 16.3.16 16.3.21 |
| 教授 (留セ) | 近藤順茂 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 大韓民国 | 16.3.24 16.3.30 |
| 助教授 (留セ) | 鹿嶋 彰 | 海外の大学の調査研究・視察のため | カナダ アメリカ合衆国 | 16.3.17 16.3.27 |
| 広報調査係長 (総) | 五十嵐義之 | 海外の大学の調査研究・視察のため | カナダ アメリカ合衆国 | 16.3.17 16.3.27 |
| 研究協力課長 (総) | 丹藤淳一 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 中華人民共和国 | 16.3.16 16.3.21 |
| 主計課専門職員 (経) | 太田修造 | 海外の大学の調査研究・視察のため | 大韓民国 | 16.3.24 16.3.30 |
| 留学生係長 (学) | 久保田豊治 | 海外の大学の調査研究・視察のため | カナダ アメリカ合衆国 | 16.3.17 16.3.27 |

■ 諸 会 議

定例評議会

3月9日(火)

議 題

- 1 教官の懲戒について
- 2 法人化関連事項について
 - (1) 「中期計画へ記載が必要な事項」について
 - (2) 法人化後の事務組織について
 - (3) 弘前大学管理運営規則(案)について
 - (4) 弘前大学学則(案)について
 - (5) 弘前大学大学院学則(案)について
 - (6) 弘前大学学位規則(案)について
 - (7) 弘前大学における講座に関する規程(案)について
 - (8) 弘前大学評価室運営規程(案)について
 - (9) 弘前大学職員就業規則(案)について
 - (10) 弘前大学契約職員就業規則(案)について
 - (11) 弘前大学パートタイム職員就業規則(案)について
 - (12) 弘前大学職員就業規則別定規程(案)について
 - 弘前大学職員任免規程(案)
 - 弘前大学教員の資格、任免及び懲戒に関する規程(案)
 - 弘前大学職員再任用規程(案)
 - 弘前大学職員出向及び転籍に関する規程(案)
 - 弘前大学職員の休職及び復職に関する規程(案)
 - 弘前大学職員給与規程(案)
 - 弘前大学役職員倫理規程(案)
 - 弘前大学職員の育児休業等に関する規程(案)
 - 弘前大学職員の介護休業等に関する規程(案)
 - 弘前大学における懲戒処分基準(案)
 - 弘前大学労働災害補償規程(案)
 - 弘前大学職員退職手当規程(案)
 - 弘前大学職員勤務評定実施規程(案)
 - 弘前大学職員のハラスメント防止等に関する規程(案)
 - 弘前大学職員勤務時間、休暇等に関する規程(案)
 - 弘前大学教員の懲戒等の審査に関する規程(案)
 - 弘前大学安全衛生管理規程(案)
 - 弘前大学職員兼業規程(案)
 - 弘前大学職員永年勤続者表彰規程(案)
 - 弘前大学大学院修学休業規程(案)
 - (13) 労使協定書(案)について
 - 賃金の一部控除に関する協定書(案)
 - 育児・介護休業適用除外に関する協定書(案)
 - 変形労働制に関する協定書(案)
 - 裁量労働制に関する協定書(案)
 - 時間外労働、休日労働に関する協定書(案)

-
- 一斉休憩の適用除外に関する協定書（案）
 - (14) 弘前大学会計規則（案）について
 - (15) 弘前大学会計規則別定規程（案）について
 - 弘前大学における会計機関等の事務の範囲及び職位等に関する規程（案）
 - 弘前大学勘定科目設定基準（案）
 - 弘前大学予算管理規程（案）
 - 弘前大学出納事務取扱規程（案）
 - 弘前大学寄附金受入事務取扱規程（案）
 - 弘前大学債権管理規程（案）
 - 弘前大学債権管理細則（案）
 - 弘前大学固定資産管理事務取扱規程（案）
 - 弘前大学不動産管理規程（案）
 - 弘前大学物品管理規程（案）
 - 弘前大学たな卸資産管理規程（案）
 - 弘前大学契約事務取扱規程（案）
 - 弘前大学政府調達事務取扱規程（案）
 - 弘前大学旅費規程（案）
 - 弘前大学受託研究取扱規程（案）
 - 弘前大学共同研究取扱規程（案）
 - 弘前大学科学研究費補助金経理事務取扱規程（案）
 - 3 弘前大学21世紀教育履修規則の一部改正について
 - 4 弘前大学国際交流科目履修規則の一部改正について
 - 5 弘前大学の学内規則等の区分及び制定改廃の手続き等に関する規程（案）について
 - 6 平成16年度帰国子女特別選抜学生募集要項（秋季入学）について
 - 7 平成16年度私費外国人留学生学生募集要項（秋季入学）について
 - 8 平成18年度入学者選抜方法実施教科・科目等について

報告事項

- 1 法人化関連事項について
 - (1) 理事等について
 - (2) 職員の過半数労働者を代表する者の選出について
 - (3) 国立大学法人総合損害保険について
- 2 遺伝子実験施設長の選出について
- 3 生涯学習教育研究センター長の選出について
- 4 大学院地域社会研究科長の選出について
- 5 教官人事報告
- 6 平成16年度弘前大学入学者選抜個別学力検査の実施結果について
- 7 「弘前大学キャンパス緑化基準（案）」について
- 8 委員会等報告
 - (1) 全学教育協議会
 - (2) 研究推進委員会
 - (3) 将来計画委員会・国立大学法人化委員会合同委員会
 - (4) 入学試験委員会
- 9 その他

臨時評議会

3月22日(月)

議 題

- 1 弘前大学知的財産ポリシー(案)等について
- 2 中期目標・中期計画について
- 3 年度計画及び業務方法書について
- 4 規則等の廃止制定について
 - (1) 弘前大学学則等及び弘前大学医療技術短期大学部学則等の廃止
 - (2) 制定する規則等
 - 【1.規則】
 - 【2.教学及び保健管理に関する規程等】
 - 【3.学術研究に関する規程等】
 - 【4.福利厚生施設等に関する規程等】
 - 【5.事務組織等に関する規程等】
 - 【6.人事に関する規程等】
 - 【7.会計に関する規程等】
 - 【8.安全管理に関する規程等】
 - 【9.その他全学に関する規程等】
 - 【10.学部等に関する規程等】
 - 【11.学内共同教育研究施設に関する規程等】
 - (3) 労使協定書(案)
 - (4) その他

報告事項

- 1 「中期計画に記載が必要な事項」について
- 2 「弘前大学大綱」及び「弘前大学細目」について
- 3 平成16年度学外非常勤講師(教員養成実地指導講師を含む。)の標準単価について
- 4 その他

将来計画委員会・国立大学法人化委員会合同委員会

3月16日(火)

報告事項

- 1 目標評価検討委員会報告
- 2 その他

議 題

- 1 中期目標・中期計画について
- 2 その他

研究推進委員会

3月25日(木)

議 題

- 1 弘前大学出版会について
- 2 弘前大学学長表彰について
- 3 その他

報告事項

- 1 各WGからの報告
 - (1) 知的財産本部設置検討WG報告

-
- (2) 重点研究WG報告
 - (3) その他WG報告
 - 2 その他

全学教育協議会

3月16日(火)

議 題

- 1 法人化後における教育体制について
- 2 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」について
- 3 その他(21世紀教育授業運営・担当評価について)

報告事項

- 1 21世紀教育センター運営委員会報告
- 2 その他

学生生活委員会

3月24日(水)

議 題

- 1 課外活動の振興方策について
- 2 その他

21世紀教育センター運営委員会

3月18日(木)

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 科目主任会報告
- 4 その他の報告

審議事項

- 1 21世紀教育センター規則の一部改正について
- 2 弘前大学における外国人留学生の21世紀教育科目履修の特例に関する内規の一部改正について
- 3 平成16年度における21世紀教育科目及び国際交流科目から共通教育科目への読み替え表について
- 4 平成16年度学外非常勤講師資格審査について
- 5 平成16年度非常勤講師による授業計画の変更について
- 6 平成16年度開講計画の変更について
- 7 平成16年度前期開講時の対応について
- 8 平成16年度北東北国立3大学単位互換(集中授業方式)による受入科目について
- 9 21世紀教育科目における編入学者に対する既修得認定基準について
- 10 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」の公募について
- 11 その他

役員会

4月1日(木)

審議事項

- 1 管理運営規則について
- 2 教育研究評議会委員及び経営協議会委員について
- 3 平成16年度予算実施計画の暫定執行限度額について

役員会

4月1日(木)

審議事項

- 1 中期目標・中期計画について
- 2 学則(案),大学院学則(案),学位規則(案),会計規則(案),役員給与規程(案),役員退職手当規程(案),職員給与規程(案),職員退職手当規程(案)について
- 3 職員就業規則,契約職員就業規則,パートタイム職員就業規則について
- 4 暫定予算について

教育研究評議会

4月1日(木)

審議事項

- 1 教育研究評議会意見聴取について
- 2 学長選考会議について
- 3 中期目標・中期計画について
- 4 学内規則について

経営協議会

4月1日(木)

審議事項

- 1 学長選考会議について
- 2 中期目標・中期計画について
- 3 学内規則について
- 4 平成16年度予算実施計画の暫定執行限度額について

学長選考会議

4月1日(木)

審議事項

- 1 理事の加入について

新任役員紹介



理事 ミソノ
崑 正博

昆教育学部教授が、平成16年4月1日付けで、理事(総務担当)に発令されました。



理事 ミニ オサム
三國 治

三國事務局長が、平成16年4月1日付けで、理事(財務担当)に発令されました。



理事 オオサキ クニオ
大関 邦夫

大関理工学部教授が、平成16年4月1日付けで、理事(教育・学生担当)に発令されました。



理事 ナカザワ カツミ
中澤 勝三

中澤人文学部教授が、平成16年4月1日付けで、理事(研究・施設マネジメント担当)に発令されました。



理事 カジ カズエイ
久慈 一英

平成16年4月1日付けで、理事(社会連携担当)に発令されました。



監事 ナガイ ノブキ
永井 伸樹

平成16年4月1日付けで、監事に発令されました。



監事 ササキ ツネオ
佐々木恒男

平成16年4月1日付けで、監事に発令されました。

新任部局長等紹介



理工学部長
ナンジョウ ヒロタダ
南條 宏肇

南條理工学部教授が、平成16年4月1日付けで、理工学部長に発令されました。



附属病院長
ムナカタ アキヒロ
棟方 昭博

棟方医学部教授が、平成16年4月1日付けで、附属病院長に発令されました。



総合情報処理センター長
フカセ マサアキ
深瀬 政秋

深瀬理工学部教授が、平成16年4月1日付けで、総合情報処理センター長に発令されました。



生涯学習教育研究センター長
アサノ キヨシ
浅野 清

浅野教育学部教授が、平成16年4月1日付けで、生涯学習教育研究センター長に発令されました。



21世紀教育センター長
ヤジマ タダオ
矢島 忠夫

矢島教育学部教授が、平成16年4月1日付けで、21世紀教育センター長に発令されました。



附属生物共生教育研究センター長
クドウ ケイチ
工藤 啓一

工藤農学生命科学部助教授が、平成16年4月1日付けで、同学部附属生物共生教育研究センター長に発令されました。

新任部課長等紹介



総務部長

ワタナベ ハルハラ
渡邊 春重

渡邊北陸先端科学技術大学院大学総務部長が、平成16年4月1日付けで、本学総務部長に発令されました。



医学部事務部長

ニシダ ヒトシ
西田 均

西田宇宙航空研究開発機構研究推進室長が、平成16年4月1日付けで、本学医学部事務部長に発令されました。



財務部経理課長

ワダ キミツグ
和田 公利

和田東京海洋大学管理会計課長が平成16年4月1日付けで、本学財務部経理課長に発令されました。



学務部教務課長

マツイ テルオ
松井 照雄

松井お茶の水女子大学学生課長が、平成16年4月1日付けで、本学学務部教務課長に発令されました。



学務部入試課長

サイトウ ヒデアキ
齋藤 秀昭

齋藤山形大学学務部入試課入試第二係長が、平成16年4月1日付けで、本学学務部入試課長に発令されました。



施設環境部施設企画課長

カワムラ ヒデオ
川村 英夫

川村東京海洋大学施設課長が平成16年4月1日付けで、本学施設環境部施設企画課長に発令されました。



学術情報部研究協力課長

サトウ ショウエイ
佐藤 祥英

佐藤総務部総務課課長補佐が、平成16年4月1日付けで、学術情報部研究協力課長に発令されました。



学術情報部情報管理課長

イガラシ テルオ
五十嵐輝雄

五十嵐富山大学附属図書館情報管理課長が、平成16年4月1日付けで、本学学術情報部情報管理課長に発令されました。



医学部総務課長

サトウ ヨウセイ
佐藤 洋正

佐藤岩手大学学生部留学生課長が、平成16年4月1日付けで、本学医学部総務課長に発令されました。



医学部医事課長

オザワ ヒロシ
小澤 浩

小澤東北大学経理部経理課支出掛長が、平成16年4月1日付けで、本学医学部医事課長に発令されました。



人文学部事務長

クロキ マサミ
黒瀧 正観

黒瀧学務部教務課課長補佐が、平成16年4月1日付けで、人文学部事務長に発令されました。



教育学部事務長

フクムラ ミサオ
福村 徳

福村学務部学生課課長補佐が、平成16年4月1日付けで、教育学部事務長に発令されました。



農学生命科学部事務長

フクシマ ツトム
福嶋 勉

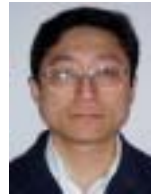
福嶋医学部管理課課長補佐が、平成16年4月1日付けで、農学生命科学部事務長に発令されました。

新任教授紹介



教育学部
ワダ ミチヒロ
和田美穂雄 (専攻:器楽)

和田教育学部助教授が,平成16年4月1日付けで,同学部教授に発令されました。



教育学部
ヤマダ シロ
山田 史生 (専攻:漢文学)

山田教育学部助教授が,平成16年4月1日付けで,同学部教授に発令されました。



教育学部
カンノ ユキヒコ
菅野 幸宏 (専攻:幼児心理学)

菅野教育学部助教授が,平成16年4月1日付けで,同学部教授に発令されました。



理工学部
オノ シロウ
小野 俊郎 (専攻:知能制御工学)

小野日本電信電話(株)NTTマイクロシステムインテグレーション研究所主幹研究員が,平成16年4月1日付けで,本学理工学部教授に発令されました。



農学生命科学部
キクチ ヒデアキ
菊池 英明 (専攻:分子生物学)

菊池東北大学加齢医学研究所助教授が,平成16年4月1日付けで,本学農学生命科学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|----------|------------|
| 16.4.1 | | 遠藤 正彦 | 学長 |
| 16.4.1 | | 永井 伸樹 | 監事 |
| 16.4.1 | | 佐々木 恒男 | 監事 |
| 16.4.1 | | 昆 正博 | 理事 |
| 16.4.1 | | 三 國 治 | 理事 |
| 16.4.1 | | 中 澤 勝三 | 理事 |
| 16.4.1 | | 大 関 邦夫 | 理事 |
| 16.4.1 | | 久 慈 一英 | 理事 |
| 16.4.1 | | 渡 邊 春重 | 総務部長 |
| 16.4.1 | | 西 田 均 | 事務部長(医学) |
| 16.4.1 | | 和 田 公利 | 経理課長(財務) |
| 16.4.1 | | 松 井 照雄 | 教務課長(学務) |
| 16.4.1 | | 斎 藤 秀昭 | 入試課長(学務) |
| 16.4.1 | | 川 村 英夫 | 施設企画課長(施設) |
| 16.4.1 | | 五 十 嵐 輝雄 | 情報管理課長(学術) |
| 16.4.1 | | 佐 藤 洋正 | 総務課長(医学) |
| 16.4.1 | | 小 澤 浩 | 医事課長(医学) |
| 16.4.1 | | 菊 池 誠 | 事務長補佐(人文) |
| 16.4.1 | | 長 谷 川 直生 | 財務係長(医・管) |
| 16.4.1 | | 千 葉 靖穂 | 用度係長(医・管) |
| 16.4.1 | | 澤 田 祐子 | 奨学主任(学・学) |
| 16.4.1 | | 花 田 順士 | 事務職員(施・企) |
| 16.4.1 | | 相 馬 久美 | 事務職員(医・管) |
| 16.4.1 | | 吉 田 富嗣 | 事務職員(医・管) |
| 16.4.1 | | 佐 藤 香 | 事務職員(医・学) |
| 16.4.1 | | 山 崎 真澄 | 事務職員(医・医) |
| 16.4.1 | | 小 野 俊郎 | 教授(理工) |
| 16.4.1 | | 菊 池 英明 | 教授(農生) |
| 16.4.1 | | 長 崎 秀昭 | 助教授(教育) |
| 16.4.1 | | 杉 原 かおり | 助教授(教育) |
| 16.4.1 | | 大 友 良光 | 助教授(医学) |
| 16.4.1 | | 峯 田 貴 | 助教授(理工) |
| 16.4.1 | | 谷 田 親彦 | 講師(教育) |
| 16.4.1 | | 小 田 桐 紗織 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 水 上 浩哉 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 片 貝 宏 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 板 谷 博幸 | 助手(医学) |

[採用]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|--------|----------|
| 16.4.1 | | 中村 秀雄 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 山本 善光 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 土岐 栄喜 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 鶴谷 尚信 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | | 須藤 直行 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 崎原 哲 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 武田 哲 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 皆川 正仁 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 梅原 豊 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 佐藤 英樹 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 米山 高弘 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 山内 崇生 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 横山 祥平 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 山崎 仁志 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 八木橋 彰憲 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 吉川 朋成 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 渡邊 学 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 小山 基 | 助手(病院) |
| 16.4.1 | | 野呂 和代 | 教務職員(理工) |
| 16.4.1 | | 工藤 茂 | 教頭(附養) |
| 16.4.1 | | 木村 讓 | 教諭(附養) |
| 16.4.1 | | 外崎 毅 | 教諭(附養) |
| 16.4.1 | | 山口 由美 | 教諭(附養) |
| 16.4.1 | | 神 美聡 | 教諭(附養) |
| 16.4.1 | | 枝村 則彦 | 教頭(附小) |
| 16.4.1 | | 兼平 名奈子 | 教諭(附幼) |
| 16.4.1 | | 澤田 栄子 | 養護教諭(附幼) |
| 16.4.1 | | 桑田 妃奈子 | 教諭(附幼) |
| 16.4.1 | | 西山 のぞみ | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 成田 宣子 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 秋田 真 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 佐藤 一光 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 地主 尚子 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 白尾 丈司 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 北谷 美樹 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 三上 久仁子 | 教諭(附小) |
| 16.4.1 | | 蝦名 理佳 | 教諭(附中) |
| 16.4.1 | | 沼倉 ことじ | 教諭(附中) |
| 16.4.1 | | 須藤 崇 | 教諭(附中) |

[採用]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|-------------|-------------|
| 16.4.1 | | 蒔 苗 尚 文 | 教諭(附中) |
| 16.4.1 | | 佐 藤 耕 人 | 教諭(附中) |
| 16.4.1 | | 藤 田 丞 | 教諭(附中) |
| 16.4.1 | | 高 谷 純 子 | 栄養士(教育) |
| 16.4.1 | | 小 野 有 希 | 臨床検査技師(病院) |
| 16.4.1 | | 相 馬 誠 | 診療放射線技師(病院) |
| 16.4.1 | | 後 藤 武 | 臨床工学技士(病院) |
| 16.4.1 | | 船 水 絵 梨 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 成 田 理 代 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 照 井 みずほ | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 千 葉 朝 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 工 藤 千 鶴 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 大 平 裕 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 大 川 真 琴 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 鵜 飼 香 織 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 田 中 綾 恵 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 豊 沢 華 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 佐 藤 智 景 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 山 本 亜 希 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 鳴 海 愛 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 中 村 真 紀 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 三 浦 貴 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 大 和 田 芽 衣 子 | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 工 藤 う み | 看護師(病院) |
| 16.4.1 | | 長 谷 川 智 代 | 看護師(病院) |

[昇任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|-----------|---------|------------|
| 16.4.1 | 課長補佐(総・総) | 佐 藤 祥 英 | 研究協力課長(学術) |
| 16.4.1 | 課長補佐(学・教) | 黒 瀧 正 観 | 事務長(人文) |
| 16.4.1 | 課長補佐(学・学) | 福 村 徳 | 事務長(教育) |
| 16.4.1 | 課長補佐(医・管) | 福 嶋 勉 | 事務長(農生) |
| 16.4.1 | 人事係長(医・総) | 児 玉 仁 | 課長補佐(総・人) |
| 16.4.1 | 学生係長(学・学) | 山 内 節 子 | 課長補佐(学・学) |
| 16.4.1 | 管理係長(経・経) | 笹 森 守 | 課長補佐(医・管) |
| 16.4.1 | 総務係長(人文) | 岡 崎 耕 衛 | 課長補佐(医・学) |
| 16.4.1 | 総務係長(経・主) | 相 馬 好 昭 | 事務長補佐(農生) |
| 16.4.1 | 総務主任(医・管) | 佐々木 健 一 | 経理係長(医・管) |

[昇任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|------------|---------|--------------|
| 16.4.1 | 経理主任(医・管) | 會津 祐子 | 収入係長(医・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・総) | 三浦 尚子 | 広報主任(総・総) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・総) | 櫻庭 晋 | 庶務主任(医・総) |
| 16.4.1 | 事務職員(教育) | 工藤 公樹 | 総務主任(医・管) |
| 16.4.1 | 事務職員(病院) | 山口 百合子 | 事務主任(病院) |
| 16.4.1 | 助教授(教育) | 和田 美亀雄 | 教授(教育) |
| 16.4.1 | 助教授(教育) | 山田 史生 | 教授(教育) |
| 16.4.1 | 助教授(教育) | 菅野 幸宏 | 教授(教育) |
| 16.4.1 | 講師(人文) | 紺屋 博昭 | 助教授(人文) |
| 16.4.1 | 講師(人文) | 山田 巖子 | 助教授(人文) |
| 16.4.1 | 講師(人文) | 石黒 格 | 助教授(人文) |
| 16.4.1 | 講師(医学) | 和田 龍一 | 助教授(医学) |
| 16.4.1 | 講師(医学) | 森 文秋 | 助教授(医学) |
| 16.4.1 | 講師(病院) | 佐々木 賀広 | 助教授(病院) |
| 16.4.1 | 助手(農生) | 殿内 暁夫 | 助教授(農生) |
| 16.4.1 | 助手(農生) | 牛田 千里 | 助教授(農生) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 木立 るり子 | 講師(医学) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 山岸 晋一郎 | 講師(医学) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 玉井 佳子 | 講師(医学) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 嶋村 則人 | 講師(医学) |
| 16.4.1 | 助手(病院) | 坂本 十一 | 講師(病院) |
| 16.4.1 | 助手(病院) | 中村 典雄 | 講師(病院) |
| 16.4.1 | 助手(病院) | 松崎 康司 | 講師(病院) |
| 16.4.1 | 助手(病院) | 浅野 研一郎 | 講師(病院) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 三浦 弘行 | 講師(病院) |
| 16.4.1 | 助手(理工) | 長瀬 智行 | 講師(理工) |
| 16.4.1 | 教務職員(教育) | 富澤 登志子 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | 教務職員(教育) | 北宮 千秋 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | 臨床検査技師(病院) | 秋元 広之 | 主任臨床検査技師(病院) |
| 16.4.1 | 副看護師長(病院) | 石川 千鶴子 | 看護師長(病院) |
| 16.4.1 | 副看護師長(病院) | 二階 千津子 | 看護師長(病院) |
| 15.4.1 | 看護師(病院) | 山口 育美 | 副看護師長(病院) |
| 15.4.1 | 看護師(病院) | 神 君子 | 副看護師長(病院) |
| 15.4.1 | 看護師(病院) | 阿保 郁子 | 副看護師長(病院) |
| 15.4.1 | 看護師(病院) | 相馬 真理子 | 副看護師長(病院) |
| 15.4.1 | 看護師(病院) | 小山内 ひさ子 | 副看護師長(病院) |

[配置換]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|--------|--------------|---------|---------------|
| 16.4.1 | 経理部長 | 高橋 一利 | 財務部長 |
| 16.4.1 | 施設部長 | 相川 洋光 | 施設環境部長 |
| 16.4.1 | 事務部長(図書) | 片野 孝保 | 学術情報部長 |
| 16.4.1 | 主計課長(経理) | 千葉 直樹 | 財務課長(財務) |
| 16.4.1 | 契約室長(経理) | 京野 義雄 | 契約管理課長(財務) |
| 16.4.1 | 建築課長(施設) | 柴田 大 | 整備計画課長(施設) |
| 16.4.1 | 設備課長(施設) | 毛利 義広 | 環境安全課長(施設) |
| 16.4.1 | 情報サービス課長(図書) | 能村 浩次 | 情報サービス課長(学術) |
| 16.4.1 | 専門員(総・総) | 坪 憲二 | 課長補佐(総・総) |
| 16.4.1 | 課長補佐(経・主) | 黒 滝 勲 | 課長補佐(財・財) |
| 16.4.1 | 専門員(経・主) | 奈良岡 芳美 | 課長補佐(財・財) |
| 16.4.1 | 課長補佐(経・経) | 瀧川 明伸 | 課長補佐(財・経) |
| 16.4.1 | 専門員(総・人) | 小林 善幸 | 課長補佐(学・教) |
| 16.4.1 | 専門員(学・教) | 佐々木 陸奥男 | 課長補佐(学・教) |
| 16.4.1 | 専門員(学・学) | 樺澤 美代子 | 課長補佐(学・学) |
| 16.4.1 | 専門員(学・学) | 田中 新吾 | 課長補佐(学・学) |
| 16.4.1 | 専門員(学・入) | 今 光雄 | 課長補佐(学・入) |
| 16.4.1 | 専門員(施・企) | 後藤 孝一 | 課長補佐(施・企) |
| 16.4.1 | 課長補佐(施・建) | 須藤 光春 | 課長補佐(施・整) |
| 16.4.1 | 専門員(総・研) | 新谷 哲雄 | 課長補佐(術・研) |
| 16.4.1 | 図書館専門員(図・管) | 齋藤 穂 | 課長補佐(術・管) |
| 16.4.1 | 専門員(医・医) | 長内 登 | 課長補佐(医・総) |
| 16.4.1 | 専門員(医・管) | 工藤 泰民 | 課長補佐(医・管) |
| 16.4.1 | 主任専門職員(医・医) | 奈良岡 喜八 | 課長補佐(医・医) |
| 16.4.1 | 企画法規係長(総・総) | 亀谷 禎清 | 総務係長(総・総) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・総) | 小田 桐 努 | 法規係長(総・総) |
| 16.4.1 | 専門職員(総・総) | 齊藤 明久 | 大学評価係長(総・総) |
| 16.4.1 | 広報調査係長(総・総) | 五十嵐 義之 | 広報係長(総・総) |
| 16.4.1 | 任用係長(総・人) | 石戸谷 昌実 | 任用第一係長(総・人) |
| 16.4.1 | 専門職員(総・人) | 鳴海 一 | 任用第二係長(総・人) |
| 16.4.1 | 能率係長(総・人) | 大川 卓男 | 職員係長(総・人) |
| 16.4.1 | 専門職員(総・人) | 佐々木 宣子 | 福祉第二係長(総・人) |
| 16.4.1 | 専門職員(経・主) | 太田 修造 | 総務係長(財・財) |
| 16.4.1 | 司計係長(経・主) | 村市 悟 | 総括予算係長(財・財) |
| 16.4.1 | 司計係長(医・管) | 土岐 欣一 | 予算管理係長(財・財) |
| 16.4.1 | 情報処理係長(経・経) | 日景 正彦 | 財務情報処理係長(財・財) |
| 16.4.1 | 監査係長(経・主) | 船水 芳弘 | 監査係長(財・財) |
| 16.4.1 | 収入係長(医・医) | 小山内 英子 | 出納係長(財・経) |
| 16.4.1 | 専門職員(経・経) | 水木 精治 | 資金決算係長(財・経) |

[配置換]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|---------------|--------|---------------|
| 16.4.1 | 給与係長(経・経) | 葛西 一宏 | 経理係長(財・経) |
| 16.4.1 | 共済係長(経・経) | 對馬 孝行 | 共済係長(財・経) |
| 16.4.1 | 経理係長(経・契) | 山口 富雄 | 契約管理係長(財・契) |
| 16.4.1 | 専門職員(経・契) | 浅利 清一 | 特定調達係長(経・契) |
| 16.4.1 | 物品調達係長(経・契) | 藤江 浩美 | 物品調達係長(経・契) |
| 16.4.1 | サービス契約係長(経・契) | 石岡 孝次 | サービス契約係長(経・契) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・教) | 粕谷 常好 | 教務修学係長(学・教) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・教) | 土岐 祐子 | 学務情報係長(学・教) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・学) | 三橋 洋子 | 学生係長(学・学) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・学) | 金澤 正彦 | 課外教育係長(学・学) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・学) | 成田 秀次 | 奨学第一係長(学・学) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・留) | 千葉 政四郎 | 留学生教育係長(学・留) |
| 16.4.1 | 企画係長(施・企) | 石田 文信 | 施設企画係長(施・企) |
| 16.4.1 | 総務係長(施・企) | 楠 美文 | 施設契約係長(施・企) |
| 16.4.1 | 機械係長(施・設) | 田澤 一徳 | 屋内施設係長(施・企) |
| 16.4.1 | 工営第二係長(施・建) | 長内 悟 | 施設計画係長(施・整) |
| 16.4.1 | 工営第一係長(施・建) | 小浜 光雄 | 施設整備係長(施・整) |
| 16.4.1 | 設備係長(医・管) | 畠山 清孝 | 屋外施設係長(施・整) |
| 16.4.1 | 電気係長(施・設) | 成田 治二 | 構内設備係長(施・環) |
| 16.4.1 | 施設係長(医・管) | 佐山 卓男 | 病院設備係長(施・環) |
| 16.4.1 | 技術専門職員(医・管) | 新谷 浩敏 | 技術専門職員(施・環) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 三浦 信義 | 研究協力係長(術・研) |
| 16.4.1 | 研究助成係長(総・研) | 佐々木 輝雄 | 研究助成係長(術・研) |
| 16.4.1 | 研究支援係長(総・研) | 長澤 恵美子 | 研究支援係長(術・研) |
| 16.4.1 | 総務係長(図・管) | 階上 忠仁 | 企画管理係長(術・管) |
| 16.4.1 | 雑誌情報係長(図・管) | 三上 豊 | 図書情報係長(術・管) |
| 16.4.1 | 利用サービス係長(図・サ) | 工藤 弘文 | 利用サービス係長(術・サ) |
| 16.4.1 | 専門職員(人文) | 佐々木 幸雄 | 企画調整係長(人文) |
| 16.4.1 | 専門職員(教育) | 安田 誠子 | 研究協力係長(教育) |
| 16.4.1 | 専門職員(教育) | 皆川 恭一 | 就職支援係長(教育) |
| 16.4.1 | 用度係長(医・管) | 長内 敏幸 | 附属学校第一係長(教育) |
| 16.4.1 | 専門職員(教育) | 鈴木 純子 | 附属学校第二係長(教育) |
| 16.4.1 | 庶務係長(医・総) | 唐牛 孝明 | 庶務第一係長(医・総) |
| 16.4.1 | 経理係長(医・管) | 齋藤 伸雄 | 庶務第二係長(医・総) |
| 16.4.1 | 研究協力係長(総・研) | 菊地 學 | 広報企画係長(医・総) |
| 16.4.1 | 総務係長(総・総) | 長澤 淳 | 人事係長(医・総) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・総) | 長尾 久好 | 卒後研修係長(医・総) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・管) | 阿部 美雄 | 外部資金係長(医・管) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・管) | 工藤 慶伸 | 経営分析係長(医・管) |

[配置換]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|---------------|-------------|---------------|
| 16.4.1 | 専門職員(医・学) | 三 上 伸 悦 | 総務係長(医・学) |
| 16.4.1 | 学務係長(医・学) | 小 野 和 明 | 学務第一係長(医・学) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・学) | 國 包 勝 榮 | 学務第二係長(医・学) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 笹 森 信 子 | 診療報酬審査係長(医・医) |
| 16.4.1 | 広報企画係長(医・総) | 吉 田 操 | 医療安全係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 佐 藤 一 治 | 医療福祉係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 盛 純 子 | 医療支援係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 小 笠 原 裕 一 | 外来係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(医・医) | 對 馬 浩 徳 | 入院係長(医・医) |
| 16.4.1 | 管財係長(経・主) | 渡 辺 弥 | 情報調査係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(学・学) | 竹 内 誠 | 医療情報管理係長(医・医) |
| 16.4.1 | 専門職員(農生) | 澤 田 和 則 | 研究協力係長(農生) |
| 16.4.1 | 専門職員(農生) | 三 上 初 雄 | 金木農場係長(農生) |
| 16.4.1 | 任用主任(総・人) | 木 村 洋 | 任用主任(総・人) |
| 16.4.1 | 能率主任(総・人) | 飯 田 有 知 子 | 職員主任(総・人) |
| 16.4.1 | 予算主任(経・主) | 三 上 徹 | 予算主任(財・財) |
| 16.4.1 | 監査主任(経・主) | 庄 司 聡 | 監査主任(財・財) |
| 16.4.1 | 給与主任(経・経) | 阿 部 暁 美 | 経理主任(財・経) |
| 16.4.1 | 医療情報運用主任(医・医) | 関 一 也 | 就職支援主任(学・学) |
| 16.4.1 | 企画主任(施・企) | 佐 藤 吉 秀 | 施設企画主任(施・企) |
| 16.4.1 | 総務主任(施・企) | 佐 々 木 美 津 子 | 施設契約主任(施・企) |
| 16.4.1 | 設備主任(医・管) | 菊 池 孝 雄 | 病院設備主任(施・環) |
| 16.4.1 | 研究助成主任(総・研) | 山 田 修 平 | 研究助成主任(術・研) |
| 16.4.1 | 事務主任(図・医) | 宮 川 順 子 | 事務主任(術・医) |
| 16.4.1 | 保健学科企画主任(医・総) | 成 田 陽 子 | 庶務主任(医・総) |
| 16.4.1 | 教務主任(理工) | 秋 元 弓 子 | 広報企画主任(医・総) |
| 16.4.1 | 研究支援主任(医・学) | 溝 江 修 一 | 総務主任(医・学) |
| 16.4.1 | 学生支援主任(医・学) | 加 藤 勇 樹 | 学生支援主任(医・学) |
| 16.4.1 | 外来主任(医・医) | 奈 良 昌 晃 | 外来主任(医・医) |
| 16.4.1 | 収入主任(医・医) | 小 山 真 樹 子 | 入院主任(医・医) |
| 16.4.1 | 事務主任(病院) | 祐 川 愛 子 | 情報管理主任(医・医) |
| 16.4.1 | 事務主任(教育) | 齋 藤 由 紀 | 事務主任(農生) |
| 16.4.1 | 事務主任(農生) | 齋 藤 毅 | 事務主任(農生) |
| 16.4.1 | 事務主任(農生) | 田 村 美 代 子 | 事務主任(農生) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・人) | 熊 谷 千 賀 子 | 事務職員(総・総) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・総) | 富 川 浩 行 | 事務職員(総・人) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・契) | 長 谷 川 公 栄 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・主) | 小 澤 真 也 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 乘 田 優 雅 | 事務職員(財・財) |

[配置換]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|-----------|-------|-----------|
| 16.4.1 | 事務職員(経・主) | 坂本良紀 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・管) | 山田佳之 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 後藤育子 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(学・教) | 菅原佳 | 事務職員(財・財) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 近藤恵美子 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 工藤理砂子 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 長内勇剛 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 高田光浩 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 成田保教 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・人) | 小倉裕美 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・医) | 成田智栄美 | 事務職員(財・経) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・主) | 成田聡 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 笹原明史 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・契) | 工藤政史 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・契) | 會津豪 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・契) | 今秀徳 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・契) | 永井学 | 事務職員(財・契) |
| 16.4.1 | 事務職員(病院) | 工藤祥英 | 事務職員(学・教) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・総) | 小熊麗子 | 事務職員(学・留) |
| 16.4.1 | 事務職員(施・建) | 松永健 | 事務職員(施・整) |
| 16.4.1 | 事務職員(施・建) | 田村貴之 | 事務職員(施・整) |
| 16.4.1 | 事務職員(施・設) | 金井圭 | 事務職員(施・環) |
| 16.4.1 | 事務職員(施・設) | 會津利幸 | 事務職員(施・環) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・管) | 三戸覚 | 事務職員(施・環) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・研) | 小野賢 | 事務職員(術・研) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・管) | 小松千雪 | 事務職員(術・管) |
| 16.4.1 | 事務職員(学・留) | 齋藤香織 | 事務職員(術・管) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・管) | 伊藤咲子 | 事務職員(術・管) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・サ) | 中田晶子 | 事務職員(術・サ) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・サ) | 坂崎春子 | 事務職員(術・サ) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・医) | 関寛子 | 事務職員(術・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・医) | 佐々木忠 | 事務職員(術・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・医) | 佐藤友紀 | 事務職員(術・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・医) | 小山久美子 | 事務職員(術・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・主) | 佐藤良法 | 事務職員(教育) |
| 16.4.1 | 事務職員(図・管) | 山田裕美 | 事務職員(教育) |
| 16.4.1 | 事務職員(農生) | 今壽砂代 | 事務職員(医・総) |
| 16.4.1 | 事務職員(経・経) | 板垣学 | 事務職員(医・総) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・総) | 須田誠一 | 事務職員(医・管) |

[配置換]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|-------------|--------|-------------|
| 16.4.1 | 事務職員(医・医) | 山内 晶代 | 事務職員(医・管) |
| 16.4.1 | 事務職員(医・医) | 岩 淵 良子 | 事務職員(医・学) |
| 16.4.1 | 事務職員(農生) | 熊 谷 美香 | 事務職員(医・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(総・総) | 藤 林 宗 | 事務職員(医・医) |
| 16.4.1 | 事務職員(学・教) | 古 川 桃子 | 事務職員(理工) |
| 16.4.1 | 自動車運転手(経・経) | 石 岡 博幸 | 自動車運転手(財・契) |
| 16.4.1 | 自動車運転手(経・経) | 佐々木 主税 | 自動車運転手(財・契) |
| 16.4.1 | 汽缶士(医・管) | 清 水 徹 | 汽缶士(施・環) |
| 16.4.1 | 実験助手(医学) | 川 口 将 | 機械操作員(医・医) |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 福 田 眞作 | 助教授(医学) |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 滝 口 雅博 | 助教授(医学) |
| 16.4.1 | 助手(病院) | 柴 田 滋 | 助手(医学) |
| 16.4.1 | 助手(医学) | 佐々木 伸也 | 助手(病院) |

[併任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|-------------|---------|------------------------|
| 16.4.1 | 理事 | 昆 正 博 | 副学長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 経営協議会委員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 理事 | 大 関 邦 夫 | 副学長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 理事 | 中 澤 勝 三 | 副学長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 附属図書館長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 理事 | 三 國 治 | 事務局長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 経営協議会委員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 理事 | 久 慈 一 英 | 教育研究評議会評議員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 総務部長 | 渡 邊 春 重 | 経営協議会委員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 財務部長 | 高 橋 一 利 | 経営協議会委員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 学務部長 | 工 藤 祥 雅 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 施設環境部長 | 相 川 洋 光 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 課長補佐(総・人) | 児 玉 仁 | 福祉第一係長(総・人) |
| 16.4.1 | 課長補佐(学・入) | 今 光 雄 | 企画調査係長(学・入) |
| 16.4.1 | 課長補佐(術・管) | 齋 藤 穂 | 資料情報係長(術・医) |
| 16.4.1 | 総務係長(総・総) | 亀 谷 禎 清 | 秘書係長(総・総) |
| 16.4.1 | 情報調査係長(医・医) | 渡 辺 弥 | 医療情報運用係長(医・医) |
| 16.4.1 | 教授(保七) | 佐々木 大 輔 | 保健管理センター所長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |

[併任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|--------|-------------------------------|
| 16.4.1 | 教授(社会) | 丹野 正 | 大学院地域社会研究科長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(人文) | 藁科 勝之 | 人文学部長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(人文) | 石堂 哲也 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 人文学部人文学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(人文) | 藤田 正一 | 経営協議会委員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(人文) | 保田 宗良 | 人文学部経済学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 佐藤 三三 | 教育学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 矢島 忠夫 | 21世紀教育センター長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 星野 英興 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育学部副学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 浅野 清 | 生涯学習教育研究センター長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 加藤 陽治 | 地域共同研究センター長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 北原 啓司 | 教育学部副学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 平岡 恭一 | 教育学部附属幼稚園長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 岡田 敬司 | 教育学部附属小学校長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 堀内 弘之 | 教育学部附属中学校長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 安藤 房治 | 教育学部附属養護学校長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 羽賀 敏雄 | 教育学部附属教育実践総合センター長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 兼子 直 | 医学部長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部医学科長(17.1.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院神経科精神科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 棟方 昭博 | 医学部附属病院長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 経営協議会委員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院第一内科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 山寺 亮 | 教育研究評議会評議員(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部保健学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 佐藤 敬 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属脳神経血管病態研究施設長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 佐々木 睦男 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院副病院長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院第二外科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院手術部長(19.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 佐々木 甚一 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |

[併任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|-----------|------------------------------|
| 16.4.1 | 教授(医学) | 阿部 由直 | アイソトープ総合実験施設長(17.9.30.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院放射線科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院放射線部長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 藏 田 潔 | 医学部附属動物実験施設長(16.11.30.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 正 村 和彦 | 附属図書館医学部分館長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 奥 村 謙 | 医学部附属病院第二内科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院材料部長(19.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 須 田 俊宏 | 医学部附属病院第三内科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 伊 藤 悦朗 | 医学部附属病院小児科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 福 田 幾夫 | 医学部附属病院病院長補佐(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院第一外科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院輸血部長(19.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 藤 哲 | 医学部附属病院整形外科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院リハビリテーション部長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 花 田 勝美 | 医学部附属病院皮膚科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 中 澤 満 | 医学部附属病院眼科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 新 川 秀一 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 水 沼 英樹 | 医学部附属病院病院長補佐(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院産科婦人科科長 |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院周産母子センター部長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 大 熊 洋揮 | 医学部附属病院脳神経外科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 棟 方 博文 | 医学部附属病院小児外科科長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 木 村 博人 | 医学部附属病院歯科口腔外科科長 |
| 16.4.1 | 教授(病院) | 菅 原 和信 | 医学部附属病院薬剤部長(19.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 保 嶋 実 | 医学部附属病院病院長補佐(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 医学部附属病院検査部長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 浅 利 靖 | 医学部附属病院救急部長 |
| 16.4.1 | 教授(医学) | 八 木 橋 操六 | 医学部附属病院病理部長(19.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(病院) | 羽 田 隆吉 | 医学部附属病院医療情報部長 |
| 16.4.1 | 教授(病院) | 加 藤 博之 | 医学部附属病院総合診療部長 |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 南 條 宏肇 | 理工学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 宮 田 寛 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 武 藤 (あきら) | 遺伝実験施設長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 深 瀬 政秋 | 総合情報処理センター長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 理工学部電子情報システム工学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 倉 又 秀一 | 留学生センター長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 雨 森 道紘 | 附属図書館副館長(18.1.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 須 藤 新一 | 学生就職支援センター長(18.3.31.まで) |

[併任]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|----------|--------|--|
| 16.4.1 | 教授(理工) | 田中 和夫 | 理工学部附属地震火山観測所長(17.9.30.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 森 聰明 | 理工学部副学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 飯倉 善和 | 理工学部副学部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 榊 真 | 理工学部数理システム学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 竹ヶ原 克彦 | 理工学部物質理工学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 氏家 良博 | 理工学部地球環境学科科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 牧野 英司 | 理工学部知能機械システム工学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 豊川 好司 | 農学生命科学部長(17.9.30.まで) |
| 16.4.1 | | | 教育研究評議会評議員(17.9.30.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 荒川 修 | 教育研究評議会評議員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 神田 健策 | 経営協議会委員(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 奥野 智旦 | 機器分析センター長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | | | 農学生命科学部応用生命工学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 鮫島 正純 | 農学生命科学部生物機能科学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 佐原 雄二 | 農学生命科学部生物生産科学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 教授(農生) | 佐々木 長市 | 農学生命科学部地域環境科学科長(17.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 助教授(医学) | 庄司 優 | 医学部附属病院検査部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(医学) | 西川 真史 | 医学部附属病院材料部副部長(18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 助教授(医学) | 高橋 徹 | 医学部附属病院周産母子センター副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 滝口 雅博 | 医学部附属病院救急部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 坂井 哲博 | 医学部附属病院手術部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 近藤 和泉 | 医学部附属病院リハビリテーション部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 尾崎 浩士 | 医学部附属病院周産母子センター副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 鎌田 義正 | 医学部附属病院病理部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 三上 聖治 | 医学部附属病院医療情報部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(病院) | 佐々木 賀広 | 医学部附属病院光学医療診療部副部長 |
| 16.4.1 | 助教授(農生) | 工藤 啓一 | 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター長 (18.3.31.まで) |
| 16.4.1 | 講師(病院) | 青木 昌彦 | 医学部附属病院放射線部副部長 |
| 16.4.1 | 講師(病院) | 木村 あさの | 医学部附属病院輸血部副部長 |
| 16.4.1 | 講師(病院) | 大沢 弘 | 医学部附属病院総合診療部副部長 |
| 16.4.1 | 教頭(附幼) | 増田 恭子 | 附属幼稚園副園長 |
| 16.4.1 | 教頭(附小) | 枝村 則彦 | 附属小学校副校長 |
| 16.4.1 | 教頭(附中) | 奈良 誠一 | 附属中学校副校長 |
| 16.4.1 | 教頭(附養) | 工藤 茂 | 附属養護学校副校長 |
| 16.4.1 | 看護部長(病院) | 須藤 明子 | 医学部附属病院病院長補佐 |

[育児休業]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|--------|--------|--------|-----------------|
| 16.4.1 | 教諭(附幼) | 古川 久美子 | [期間延長]16.8.20まで |

[復職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|--------|---------|--------|--------|
| 16.4.1 | 教諭(附養) | 白戸 禎子 | 育児休業より |
| 16.4.1 | 教諭(附中) | 工藤 壽美 | 育児休業より |
| 16.4.1 | 看護師(病院) | 速水 りか子 | 育児休業より |

[退職・辞職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|---------|-----------|---------|------|
| 16.3.31 | 事務長(人文) | 山谷 隆明 | 定年 |
| 16.3.31 | 事務長(教育) | 佐藤 武智夫 | 定年 |
| 16.3.31 | 事務長(農生) | 船澤 陸郎 | 定年 |
| 16.3.31 | 課長補佐(医・学) | 小田 桐ミツエ | 定年 |
| 16.3.31 | 事務長補佐(農生) | 桑田 隆 | 定年 |
| 16.3.31 | 専門職員(医・医) | 寺内 喜美子 | 定年 |
| 16.3.31 | 事務主任(医学) | 鳴海 弘子 | 定年 |
| 16.3.31 | 汽缶士(医・管) | 川村 継男 | 定年 |
| 16.3.31 | 作業員(理工) | 三上 重太郎 | 定年 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 福士 貞夫 | 定年 |
| 16.3.31 | 副看護師長(病院) | 岩谷 佳世子 | 定年 |
| 16.3.31 | 副看護師長(病院) | 五十嵐 八ギ | 定年 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 坂本 イクヨ | 定年 |
| 16.3.31 | 准看護師(病院) | 田中 くに子 | 定年 |
| 16.3.31 | 准看護師(病院) | 小笠原 靖子 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(教育) | 早川 三野雄 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(教育) | 渡邊 一夫 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(医学) | 大串 靖子 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(医学) | 松木 明知 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(医学) | 鈴木 唯司 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(医学) | 菅原 和夫 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(理工) | 佐藤 孜 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(農生) | 卜 蔵 建治 | 定年 |
| 16.3.31 | 教授(農生) | 安藤 喜一 | 定年 |
| 16.3.31 | 講師(農生) | 河井 聖司 | 定年 |
| 16.3.31 | 学長 | 遠藤 正彦 | 辞職 |

[退職・辞職]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|------------|-----------|------|
| 16.3.31 | 事務局長 | 三 國 治 | 辞職 |
| 16.3.31 | 研究協力課長(総務) | 丹 藤 淳 一 | 辞職 |
| 16.3.31 | 附属学校係長(教育) | 葛 西 修 | 辞職 |
| 16.3.31 | 事務主任(農生) | 奈 良 岡 耕 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教授(人文) | 星 野 優 太 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教授(医学) | 木 村 紀 美 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(教育) | 志 村 元 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(医学) | 須 藤 俊 之 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(医学) | 高 谷 俊 一 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(医学) | 森 田 隆 幸 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(医学) | 関 谷 徹 治 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(病院) | 佐 々 木 泰 輔 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助教授(農生) | 富 田 正 徳 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(教育) | 佐 野 信 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(医学) | 佐 藤 征 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(医学) | 八 木 橋 法 登 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(医学) | 田 村 好 弘 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(病院) | 岩 佐 博 人 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(病院) | 水 木 大 介 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(病院) | 川 口 俊 明 | 辞職 |
| 16.3.31 | 講師(病院) | 村 岡 正 敏 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 西 村 由 香 里 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 三 戸 聖 也 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 菊 地 隆 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 佐 藤 元 哉 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 一 戸 学 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(医学) | 高 畑 武 功 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 吉 町 文 暢 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 白 戸 研 一 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 田 野 崎 真 人 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 遠 野 千 佳 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 小 野 裕 逸 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 工 藤 悟 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 菊 池 康 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 神 村 典 孝 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 近 藤 英 宏 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(病院) | 山 下 建 | 辞職 |
| 16.3.31 | 助手(理工) | 上 野 哲 | 辞職 |
| 16.3.31 | 技官(理工) | 村 井 正 佳 | 辞職 |

[退職・辞職]

| 発令 年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------------|-----------|-------------------|
| 16.3.31 | 教頭(附養) | 八木橋 鉄 弘 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附養) | 川 村 泰 弘 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附養) | 土 岐 宏 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附養) | 相 馬 浩 良 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教頭(附小) | 工 藤 強 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附幼) | 唐 牛 裕 生 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 千 葉 勝 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 秋 元 智 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 小 枝 晃 嘉 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 須 藤 由 香 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 岩 崎 和 佳 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 鳴 海 昭 博 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附小) | 佐 藤 あつ子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 相 木 英 理 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 佐々木 敦 彦 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 武 井 まゆみ | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 阿 部 笑 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 丹 代 陽 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 栄養士(教育) | 渋 谷 澄 江 | 辞職 |
| 16.3.31 | 主任臨床検査技師(病院) | 大 瀧 千 代 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師長(病院) | 山 口 敏 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師長(病院) | 佐 藤 し の ぶ | 辞職 |
| 16.3.31 | 副看護師長(病院) | 坂 岡 の り 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 成 田 恵 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 山 形 紀 美 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 佐 藤 ト モ | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 高 山 登 志 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 千 葉 若 奈 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 船 越 奈 菜 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 伏 見 奈 緒 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 成 田 寛 乃 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 小 山 夏 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 千 葉 朝 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 准看護師(病院) | 長 内 節 子 | 辞職 |
| 16.3.31 | 教諭(附養) | 板 垣 満 晴 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.3.31 | 教諭(附幼) | 桑 田 妃 奈 子 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.3.31 | 教諭(附中) | 杉 内 理 恵 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 鶺 飼 香 織 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 大 平 裕 子 | 退職(16.3.31限り任期満了) |

[退職・辞職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|---------|-------------|---------|-------------------|
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 山本 亜希子 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.3.31 | 看護師(病院) | 大和田 芽衣子 | 退職(16.3.31限り任期満了) |
| 16.4.1 | 総務部長 | 亀井 崇 | 辞職 |
| 16.4.1 | 事務部長(医学) | 益本 俊治 | 辞職 |
| 16.4.1 | 経理課長(経理) | 松浦 宏幸 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教務課長(学務) | 田頭 静 | 辞職 |
| 16.4.1 | 入試課長(学務) | 深澤 涉 | 辞職 |
| 16.4.1 | 企画課長(施設) | 虎澤 敬彦 | 辞職 |
| 16.4.1 | 情報管理課長(図書) | 岡田 潔 | 辞職 |
| 16.4.1 | 総務課長(医学) | 松岡 實夫 | 辞職 |
| 16.4.1 | 医事課長(医学) | 伊藤 健一 | 辞職 |
| 16.4.1 | 出納係長(経・経) | 土橋 政昭 | 辞職 |
| 16.4.1 | 専門職員(学・学) | 森 幸彦 | 辞職 |
| 16.4.1 | 資料情報係長(図・医) | 中條 将喜 | 辞職 |
| 16.4.1 | 総務主任(経・主) | 尾崎 克洋 | 辞職 |
| 16.4.1 | 事務職員(医・管) | 田中 真理子 | 辞職 |
| 16.4.1 | 事務職員(医・管) | 熊谷 文隆 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教授(人文) | 中澤 勝三 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 山下 美樹 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教授(教育) | 昆 正博 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教授(理工) | 大関 邦夫 | 辞職 |
| 16.4.1 | 講師(医学) | 田高 悦子 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教諭(附養) | 神 美聡 | 辞職 |
| 16.4.1 | 教諭(附小) | 北谷 美樹 | 辞職 |

[出向]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|--------|-----------|-------|-----------------|
| 16.4.1 | 事務職員(医・学) | 山田 識子 | 岩手大学 |
| 16.4.1 | 事務職員(医・医) | 渡邊 篤 | 日本学生支援機構 |
| 16.4.1 | 事務職員(理工) | 中村 貴 | 東北大学(16.6.30まで) |

■ 主要日誌

- 3月6日 クリニカル・クラークシップFD（医学科）
合格者発表（前期日程）
- 8日 東北地区国立大学事務局長会議（仙台ガーデンパレス）
北東北国立3大学連携推進会議連携協議会分野別（人文・社会系）専門委員会（第2回）（人文学部）
運営会議
21世紀教育企画会議
- 9日 評議会
部局長等会議
21世紀教育教務専門委員会
- 10日 社会連携委員会
教育・学生委員会
- 11日 C J R 運営委員会
部長会議・事務協議会法人化対策連絡調整会議との合同会議
事務協議会
地域社会研究科委員会
総務委員会
研究・施設マネジメント委員会
機器分析センター運営委員会
財務委員会
- 12日 附属中学校卒業式（附属中学校）
平成16年度入学者選抜個別学力検査（後期日程）
- 14日 入学手続（前期日程）（～15日）
- 15日 附属幼稚園卒業式（附属幼稚園）
運営会議
平成15年度外国人留学生研修修了証書授与式
21世紀教育点検・評価専門委員会
- 16日 第39回弘前大学遺伝子実験施設セミナー（遺伝子実験施設）
21世紀教育FD・広報専門委員会
将来計画委員会・国立大学法人化委員会合同委員会
全学教育協議会
就職対策協議会
- 17日 国立大学法人設立委員会（如水会館）
附属養護学校卒業式（附属養護学校）
- 18日 学長オフィスアワー
21世紀教育センター運営委員会
- 19日 附属小学校卒業式（附属小学校）
平成15年度後期弘前大学公開講座「高・大連携高校生セミナー」修了証書授与式
- 20日 地域社会研究科記念シンポジウム（50周年記念会館みちのくホール）
- 21日 入学者選抜選考委員会
- 22日 合格者発表（後期日程）
運営会議
臨時評議会
生涯学習教育研究センター運営委員会
- 23日 平成15年度弘前大学卒業式（弘前市民会館）
-

-
- 平成15年度弘前大学大学院修了式（50周年記念会館みちのくホール）
平成15年度岩手大学大学院修了式（岩手県民会館）
平成15年度岩手大学大学院連合農学研究科学位記伝達式
- 24日 学生生活委員会
財務委員会
サテライト運営委員会
- 25日 弘前大学永年勤続者表彰式並びに文部科学省永年勤続者表彰状伝達式
（50周年記念会館みちのくホール）
- 教育研究評議会
発明委員会
研究推進委員会
- 26日 入学手続（後期日程）（～27日）
学位記授与式
経営協議会
- 28日 追加合格業務開始
- 29日 運営会議
- 30日 動物実験委員会
- 31日 国立弘前大学閉学式
- 4月1日 役員会，教育研究評議会，経営協議会，学長選考会議
- 2日 国立大学法人弘前大学設置記念式典並びに旧制官立弘前高等学校外国人教師館
移築記念式典（50周年記念会館みちのくホール）

行事予定

事務局

- 5月13日 平成16年度東北地区国立大学学生関係副学長・部課長会議（～14日 秋田市）
19日 第40回12大学教養教育実施組織代表者会議及び事務協議会（山口市）
20日 平成16年度国立大学教養教育実施組織会議及び事務協議会（～21日 岡山市）
23日 国立大学法人等職員採用試験（弘前大学）

人文学部

- 5月20日 第1回国立大学法人17大学人文系学部長会議（～21日 さいたま市）

教育学部

- 5月28日 平成16年度春季全国国立大学法人教育系学部長会議（国際ホテル高知）

医学部

- 5月21日 全国医学部長病院長会議平成16年度定例総会（都市センターホテル）

理工学部

- 5月13日 第54回国立大学工学学部長会議・総会（～14日 仙台市）

農学生命科学部

- 5月21日 第168回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会（岩手大学）

他大学等の自己点検評価報告書，研究者総覧等の 保管・閲覧について

附属図書館（新書庫2階）で閲覧できる他大学等の自己点検評価報告書，研究者総覧等（平成16年1月～平成16年3月受入れ分）は，次のとおりです。

なお，保管場所の都合により，受入日の古いものから順次廃棄することになりますので，ご了承下さい。

本件に関する問い合わせ先

総務部総務課 内線3014

附属図書館情報サービス課 利用サービス係 内線3162

自己点検評価報告書

（国立大学）

| | |
|----------------------------------|----------|
| 旭川医科大学点検評価報告書 | 平成14年 3月 |
| 旭川医科大学外部評価報告書 | 平成15年 6月 |
| 千葉大学真菌医学研究センター外部評価報告書 | 平成16年 3月 |
| 京都大学自己点検・評価報告書 入学試験 | 平成16年 3月 |
| 兵庫教育大学学校教育学部附属小学校・中学校・幼稚園外部評価報告書 | 平成16年 3月 |
| 大分大学教員評価報告書 | 平成15年 9月 |

（私立大学）

| | |
|------------------|----------|
| 東北福祉大学点検・評価報告書 | 平成15年 9月 |
| 中央大学大学評価報告書 | 2001年 |
| 聖心女子大学自己点検・評価報告書 | 2004年 2月 |
| 神奈川大学自己点検・評価基礎資料 | 2004年 1月 |

（その他）

| | |
|----------------|----------|
| 放送大学自己点検・評価報告書 | 平成16年 3月 |
|----------------|----------|

（高等専門学校）

| | |
|-------------------|----------|
| 八戸工業高等専門学校外部評価報告書 | 平成16年 2月 |
| 鶴岡工業高等専門学校外部評価報告書 | 平成16年 2月 |

（大学共同利用機関）

| | |
|---------------------------|----------|
| 国立情報学研究所外部評価報告書 | 平成16年 2月 |
| 岡崎国立共同研究機構生理学研究所点検評価と将来計画 | 2004年 2月 |

研究業績一覧

(国立大学)

| | | |
|-------------|-------|----|
| 東京工業大学 | 平成16年 | 2月 |
| 鹿屋体育大学年次報告書 | 平成15年 | 2月 |

(私立大学)

| | | |
|---------------|-------|----|
| 東北福祉大学 | 平成15年 | 3月 |
| 桃山学院大学教育・研究年報 | 2004年 | 2月 |
| 九州東海大学教育研究年報 | 2004年 | 3月 |

研究者総覧

(国立大学)

| | | |
|----------|-------|-----|
| 東京工業大学 | 平成15年 | 10月 |
| 新潟大学 | 平成16年 | 1月 |
| 京都工芸繊維大学 | 2003 | |

(大学共同利用機関)

| | | |
|---------|-------|----|
| 統計数理研究所 | 平成16年 | 3月 |
|---------|-------|----|

以上

平成16年4月1日制定規則等一覧

：付議規則等

：報告規程等

1 規 則

| 規 則 名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------------|--------------------|
| 国立大学法人弘前大学管理運営規則 | 平成16年4月1日 規則第1号 |
| 弘前大学学則 | 平成16年4月1日 規則第2号 |
| 弘前大学大学院学則 | 平成16年4月1日 規則第3号 |
| 弘前大学学位規則 | 平成16年4月1日 規則第4号 |
| 国立大学法人弘前大学職員就業規則 | 平成16年4月1日 規則第5号 |
| 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則 | 平成16年4月1日 規則第6号 |
| 国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則 | 平成16年4月1日 規則第7号 |
| 国立大学法人弘前大学会計規則 | 平成16年4月1日 規則第8号 |

2 教学及び保健管理に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|---|---------------------|
| 弘前大学における講座に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第1号 |
| 弘前大学各学部共通規程 | 平成16年4月1日 規程第2号 |
| 弘前大学21世紀教育履修規程 | 平成16年4月1日 規程第3号 |
| 弘前大学における外国人留学生の21世紀教育科目履修の特例に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第4号 |
| 弘前大学21世紀教育科目における「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第5号 |
| 弘前大学21世紀教育科目における「放送大学との単位互換」の単位認定に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第6号 |
| 弘前大学21世紀教育科目における「北東北国立3大学との単位互換」の単位認定に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第7号 |
| 弘前大学「弘前学院大学との単位互換」の単位認定に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第8号 |
| 弘前大学国際交流科目履修規程 | 平成16年4月1日 規程第9号 |
| 弘前大学短期留学プログラム規程 | 平成16年4月1日 規程第10号 |

| | |
|------------------------|---------------------|
| 弘前大学大学院長期履修学生に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第11号 |
| 弘前大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第12号 |
| 弘前大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第13号 |
| 弘前大学学寮管理運営規程 | 平成16年4月1日 規程第14号 |
| 弘前大学職業紹介業務運営規程 | 平成16年4月1日 規程第15号 |
| 弘前大学学生就職支援センター規程 | 平成16年4月1日 規程第16号 |
| 弘前大学学生等保健管理規程 | 平成16年4月1日 規程第17号 |
| 弘前大学学校医規程 | 平成16年4月1日 規程第18号 |

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|---------------|---------------------|
| 弘前大学学校医規程施行細則 | 平成16年4月1日 細則第1号 |
| 弘前大学学生総合相談室規程 | 平成16年4月1日 規程第19号 |
| 弘前大学入学試験委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第20号 |
| 弘前大学入学試験運営細則 | 平成16年4月1日 細則第2号 |

3 学術研究に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------|---------------------|
| 弘前大学研究用微生物安全管理規程 | 平成16年4月1日 規程第21号 |
| 弘前大学動物実験委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第22号 |
| 弘前大学動物実験に関する指針 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学組換えDNA実験安全管理規程 | 平成16年4月1日 規程第23号 |
| 弘前大学エネルギー教育推進委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第24号 |
| 弘前大学エネルギー教育協議会内規 | 平成16年4月1日 |
| 国立大学法人弘前大学知的財産取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第25号 |
| 弘前大学研究員等受入れ規程 | 平成16年4月1日 規程第26号 |

| | |
|---|-----------|
| 弘前大学受託研究員実施要項 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学内地研究員制度実施要項 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学私学研修員，専修学校研修員，公立高等専門学校研修員，公立大学研修員，教員研修センター研修員実施要項 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学外国人受託研修員実施要項 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学中国医学研修生実施要項 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学教育学部属学校内地研修員実施要項 | 平成16年4月1日 |

4 福利厚生施設等に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------|---------------------|
| 弘前大学大学会館規程 | 平成16年4月1日 規程第27号 |
| 弘前大学大学会館使用細則 | 平成16年4月1日 細則第3号 |
| 弘前大学国際交流会館規程 | 平成16年4月1日 規程第28号 |
| 弘前大学国際交流会館使用細則 | 平成16年4月1日 細則第4号 |
| 弘前大学深浦ハウス規程 | 平成16年4月1日 規程第29号 |
| 弘前大学深浦ハウス使用細則 | 平成16年4月1日 細則第5号 |
| 弘前大学合宿所使用細則 | 平成16年4月1日 細則第6号 |
| 弘前大学課外活動団体共用施設使用細則 | 平成16年4月1日 細則第7号 |
| 弘前大学体育施設規程 | 平成16年4月1日 規程第30号 |
| 弘前大学体育施設使用細則 | 平成16年4月1日 細則第8号 |
| 弘前大学創立50周年記念会館規程 | 平成16年4月1日 規程第31号 |
| 弘前大学創立50周年記念会館使用細則 | 平成16年4月1日 細則第9号 |

5 事務組織等に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学事務組織規程 | 平成16年4月1日 規程第32号 |
| 国立大学法人弘前大学事務分掌細則 | 平成16年4月1日 細則第10号 |

| | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学公印規程 | 平成16年4月1日 規程第33号 |
| 国立大学法人弘前大学文書処理規程 | 平成16年4月1日 規程第34号 |
| 国立大学法人弘前大学法人文書管理規程 | 平成16年4月1日 規程第35号 |
| 国立大学法人弘前大学文書決裁規程 | 平成16年4月1日 規程第36号 |
| 国立大学法人弘前大学長の行う承認又は命令権等の委任に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第37号 |
| 国立大学法人弘前大学学内規則等の区分及び制定改廃の手続き等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第38号 |

6 人事に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|-----------------------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学職員任免規程 | 平成16年4月1日 規程第39号 |
| 国立大学法人弘前大学職員任免等手続細則 | 平成16年4月1日 細則第11号 |
| 国立大学法人弘前大学契約職員及びパートタイム職員任免等手続細則 | 平成16年4月1日 細則第12号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の併任に関する任免等手続細則 | 平成16年4月1日 細則第13号 |
| 国立大学法人弘前大学外国人教師の契約手続等細則 | 平成16年4月1日 細則第14号 |
| 国立大学法人弘前大学教員の資格，任免，分限及び懲戒に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第40号 |
| 国立大学法人弘前大学再任用規程 | 平成16年4月1日 規程第41号 |
| 国立大学法人弘前大学職員出向及び転籍に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第42号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の休職及び復職に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第43号 |
| 国立大学法人弘前大学職員給与規程 | 平成16年4月1日 規程第44号 |
| 国立大学法人弘前大学役員給与規程 | 平成16年4月1日 規程第45号 |
| 国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程 | 平成16年4月1日 規程第46号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の初任給，昇格及び昇給等の基準に関する細則 | 平成16年4月1日 細則第15号 |
| 国立大学法人弘前大学扶養手当支給細則 | 平成16年4月1日 細則第16号 |
| 国立大学法人弘前大学住居手当支給細則 | 平成16年4月1日 細則第17号 |

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学通勤手当支給細則 | 平成16年4月1日 細則第18号 |
| 国立大学法人弘前大学単身赴任手当支給細則 | 平成16年4月1日 細則第19号 |
| 国立大学法人弘前大学期末手当，勤勉手当及び期末特別手当支給細則 | 平成16年4月1日 細則第20号 |
| 国立大学法人弘前大学役職員倫理規程 | 平成16年4月1日 規程第47号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の育児休業等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第48号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の介護休業等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第49号 |
| 国立大学法人弘前大学における懲戒処分基準 | 平成16年4月1日 |
| 国立大学法人弘前大学業務災害補償規程 | 平成16年4月1日 規程第50号 |
| 国立大学法人弘前大学職員退職手当規程 | 平成16年4月1日 規程第51号 |
| 国立大学法人弘前大学役員退職手当規程 | 平成16年4月1日 規程第52号 |
| 国立大学法人弘前大学職員勤務評定実施規程 | 平成16年4月1日 規程第53号 |
| 国立大学法人弘前大学ハラスメント防止等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第54号 |
| 国立大学法人弘前大学職員勤務時間，休暇等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第55号 |
| 国立大学法人弘前大学教員の懲戒等の審査に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第56号 |
| 国立大学法人弘前大学大学院修学休業規程 | 平成16年4月1日 規程第57号 |
| 国立大学法人弘前大学職員兼業規程 | 平成16年4月1日 規程第58号 |
| 国立大学法人弘前大学永年勤続者表彰規程 | 平成16年4月1日 規程第59号 |
| 国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第60号 |
| 国立大学法人弘前大学職員の区分，種類及び職名に関する細則 | 平成16年4月1日 細則第21号 |
| 弘前大学名誉教授称号授与規程 | 平成16年4月1日 規程第61号 |
| 弘前大学名誉博士称号授与規程 | 平成16年4月1日 規程第62号 |
| 弘前大学客員教授等選考規程 | 平成16年4月1日 規程第63号 |

7 会計に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|-------------------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第64号 |
| 国立大学法人弘前大学勘定科目設定基準 | 平成16年4月1日 |
| 国立大学法人弘前大学予算管理規程 | 平成16年4月1日 規程第65号 |
| 国立大学法人弘前大学出納事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第66号 |
| 国立大学法人弘前大学寄附金受入事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第67号 |
| 国立大学法人弘前大学債権管理規程 | 平成16年4月1日 規程第68号 |
| 国立大学法人弘前大学債権管理細則 | 平成16年4月1日 細則第22号 |
| 国立大学法人弘前大学固定資産管理事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第69号 |
| 国立大学法人弘前大学不動産管理規程 | 平成16年4月1日 規程第70号 |
| 国立大学法人弘前大学物品管理規程 | 平成16年4月1日 規程第71号 |
| 国立大学法人弘前大学たな卸資産管理規程 | 平成16年4月1日 規程第72号 |
| 国立大学法人弘前大学契約事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第73号 |
| 国立大学法人弘前大学政府調達事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第74号 |
| 国立大学法人弘前大学旅費規程 | 平成16年4月1日 規程第75号 |
| 国立大学法人弘前大学宿舍規程 | 平成16年4月1日 規程第76号 |
| 国立大学法人弘前大学受託研究取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第77号 |
| 国立大学法人弘前大学共同研究取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第78号 |
| 国立大学法人弘前大学科学研究費補助金経理事務取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第79号 |

8 安全管理に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|---------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学安全衛生管理規程 | 平成16年4月1日 規程第80号 |
| 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程 | 平成16年4月1日 規程第81号 |

9 その他全学に関する規程等

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------------------------|---------------------|
| 国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程 | 平成16年4月1日 規程第82号 |
| 国立大学法人弘前大学情報公開に関する開示・不開示の審査基準 | 平成16年4月1日 |
| 国立大学法人弘前大学情報公開委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第83号 |
| 国立大学法人弘前大学情報公開委員会開示・不開示等検討小委員会 内規 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学評価室運営規程 | 平成16年4月1日 規程第84号 |
| 弘前大学サテライト規程 | 平成16年4月1日 規程第85号 |
| 弘前大学サテライト運営委員会内規 | 平成16年4月1日 |
| 弘前大学スペース・コラボレーション・システム事業実施委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第86号 |
| 弘前大学寄附講座及び寄附研究部門規程 | 平成16年4月1日 規程第87号 |
| 弘前大学ホームページの管理運用に関する申合せ | 平成16年4月1日 |

10 人文学部に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|-----------------------|---------------------|
| 弘前大学人文学部規程 | 平成16年4月1日 規程第88号 |
| 弘前大学人文学部教授会規程 | 平成16年4月1日 規程第89号 |
| 弘前大学人文学部長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第90号 |
| 弘前大学人文学部教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第91号 |
| 弘前大学大学院人文社会科学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第92号 |
| 弘前大学大学院人文社会科学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第93号 |

11 教育学部に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------|---------------------|
| 弘前大学教育学部規程 | 平成16年4月1日 規程第94号 |
| 弘前大学教育学部教授会規程 | 平成16年4月1日 規程第95号 |
| 弘前大学教育学部長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第96号 |

| | |
|---------------------|----------------------|
| 弘前大学教育学部教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第97号 |
| 弘前大学教育学部放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第98号 |
| 弘前大学大学院教育学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第99号 |
| 弘前大学大学院教育学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第100号 |

12 医学部に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|----------------------------|----------------------|
| 弘前大学医学部規程 | 平成16年4月1日 規程第101号 |
| 弘前大学医学部教授会規程 | 平成16年4月1日 規程第102号 |
| 弘前大学医学部長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第103号 |
| 弘前大学医学部教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第104号 |
| 弘前大学医学部保健学科放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第105号 |
| 弘前大学医学部核燃料物質計量管理規程 | 平成16年4月1日 規程第106号 |
| 弘前大学大学院医学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第107号 |
| 弘前大学大学院医学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第108号 |
| 弘前大学医学部附属動物実験施設放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第109号 |

13 医学部附属病院に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|----------------------|----------------------|
| 弘前大学医学部附属病院規程 | 平成16年4月1日 規程第110号 |
| 弘前大学医学部附属病院科長会規程 | 平成16年4月1日 規程第111号 |
| 弘前大学医学部附属病院長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第112号 |
| 弘前大学医学部附属病院放射線障害予防規定 | 平成16年4月1日 規程第113号 |

14 理工学部に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|---------------|----------------------|
| 弘前大学理工学部規程 | 平成16年4月1日 規程第114号 |
| 弘前大学理工学部教授会規程 | 平成16年4月1日 規程第115号 |

| | |
|--------------------|----------------------|
| 弘前大学工学部部長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第116号 |
| 弘前大学工学部教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第117号 |
| 弘前大学工学部放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第118号 |
| 弘前大学工学部核燃料物質計量管理規程 | 平成16年4月1日 規程第119号 |
| 弘前大学大学院工学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第120号 |
| 弘前大学大学院工学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第121号 |
| 弘前大学理学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第122号 |
| 弘前大学理学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第123号 |

15 農学生命科学部に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------------------|----------------------|
| 弘前大学農学生命科学部規程 | 平成16年4月1日 規程第124号 |
| 弘前大学農学生命科学部教授会規程 | 平成16年4月1日 規程第125号 |
| 弘前大学農学生命科学部長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第126号 |
| 弘前大学農学生命科学部教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第127号 |
| 弘前大学農学生命科学部放射性同位元素実験室放射線障害予防規定 | 平成16年4月1日 規程第128号 |
| 弘前大学農学生命科学部放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第129号 |
| 弘前大学農学生命科学部核燃料物質計量管理規程 | 平成16年4月1日 規程第130号 |
| 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第131号 |
| 弘前大学大学院農学生命科学研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第132号 |

16 大学院地域社会研究科に関する規程

| 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------------|----------------------|
| 弘前大学大学院地域社会研究科規程 | 平成16年4月1日 規程第133号 |
| 弘前大学大学院地域社会研究科委員会規程 | 平成16年4月1日 規程第134号 |
| 弘前大学大学院地域社会研究科長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第135号 |

| | |
|------------------------|----------------------|
| 弘前大学大学院地域社会研究科専任教員選考規程 | 平成16年4月1日 規程第136号 |
|------------------------|----------------------|

17 附属図書館に関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|-------------------|----------------------|
| 弘前大学附属図書館規程 | 平成16年4月1日 規程第137号 |
| 弘前大学附属図書館長候補者選考規程 | 平成16年4月1日 規程第138号 |

18 21世紀教育センターに関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------------|----------------------|
| 弘前大学21世紀教育センター規程 | 平成16年4月1日 規程第139号 |
| 弘前大学21世紀教育センター科目主任に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第140号 |

19 遺伝子実験施設に関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|----------------------|----------------------|
| 弘前大学遺伝子実験施設規程 | 平成16年4月1日 規程第141号 |
| 弘前大学遺伝子実験施設放射線障害予防規定 | 平成16年4月1日 規程第142号 |

20 総合情報処理センターに関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------|----------------------|
| 弘前大学総合情報処理センター規程 | 平成16年4月1日 規程第143号 |

21 生涯学習教育研究センターに関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|--------------------|----------------------|
| 弘前大学生涯学習教育研究センター規程 | 平成16年4月1日 規程第144号 |

22 地域共同研究センターに関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|------------------|----------------------|
| 弘前大学地域共同研究センター規程 | 平成16年4月1日 規程第145号 |

23 留学生センターに関する規程

| 規程等名 | 制定日及び制定番号 |
|----------------------------------|----------------------|
| 弘前大学留学生センター規程 | 平成16年4月1日 規程第146号 |
| 弘前大学留学生センター外国人留学生日本語・日本文化研修コース規程 | 平成16年4月1日 規程第147号 |
| 弘前大学留学生センター外国人留学生日本語研修コース規程 | 平成16年4月1日 規程第148号 |

24 保健管理センターに関する規程

| | 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--|-------------------------|----------------------|
| | 弘前大学保健管理センター規程 | 平成16年4月1日 規程第149号 |
| | 弘前大学保健管理センター放射線障害防止管理規程 | 平成16年4月1日 規程第150号 |

25 アイソトープ総合実験室に関する規程

| | 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--|--------------------------|----------------------|
| | 弘前大学アイソトープ総合実験室規程 | 平成16年4月1日 規程第151号 |
| | 弘前大学アイソトープ総合実験室放射線障害予防規定 | 平成16年4月1日 規程第152号 |

26 機器分析センターに関する規程

| | 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--|----------------|----------------------|
| | 弘前大学機器分析センター規程 | 平成16年4月1日 規程第153号 |

27 教育学部附属学校に関する規程

| | 規 程 等 名 | 制定日及び制定番号 |
|--|------------------------------|----------------------|
| | 弘前大学教育学部附属学校の授業料その他の費用に関する規程 | 平成16年4月1日 規程第154号 |

弘前大学学報創刊号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111